

Nutanix (AHV) 設置手順書

Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix
Intersight Standalone Mode 版

Rev. 1.0

ダイワボウ情報システム株式会社
ディーアイエスサービス&ソリューション株式会社

目次

免責事項	4
1. はじめに	5
1.1 本手順書について	5
1.2 対象となる製品・バージョン	5
1.3 作業の流れ	5
2. 事前準備	6
2.1 操作端末の用意	6
3. Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix 対応機種の設定	7
3.1 Cisco UCS HCIAF220C M6 の設置	7
3.2 Cisco UCS HCIAF240C M6 の設置	10
3.3 Cisco UCS HCIAF220C M7 の設置	13
3.4 Cisco UCS HCIAF240C M7 の設置	16
4. Nutanix の起動	19
4.1 Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix ノードの起動	19
4.2 CIMC からのステータス確認	19
4.3 ハイパーバイザー(AHV)へのログイン確認	21
4.4 CVM へのログイン確認	22
4.5 Nutanix クラスターの起動	23
4.6 Prism Element へのログイン	24
5. Intersight (SaaS) ステータス確認	25
5.1 Intersight (SaaS)管理画面でのステータス確認	25
6. 設定内容の確認	27
6.1 AOS バージョンの確認	27
6.2 ノード数・ノードの IP アドレスの確認	28
6.3 クラスター名とクラスター仮想 IP アドレスの確認	29
6.4 Redundancy Factor の確認	31
6.5 NTP、DNS サーバーの確認	32
6.6 Pulse 設定値の確認	34
6.7 ストレージコンテナの確認	35
7. Prism Central のデプロイ・設定	37
7.1 Prism Central のデプロイ	37

7.2	クラスターの登録	45
7.3	Prism Central への SSH ログイン	47
7.4	Prism Central の停止	48
7.5	Prism Central の起動	49
8.	Nutanix の停止	50
8.1	Nutanix クラスターの停止	50
8.2	CVM のシャットダウン	51
8.3	ハイパーバイザー(AHV)のシャットダウン	52
9.	参考情報	54
9.1	Prism Element の日本語化	54
9.2	サポートポータルユーザー登録について	56
9.3	オーソライズド・ドメインについて	56
9.4	ライセンス適用について	56
9.5	ハイパーバイザー、CVM のパスワードについて	56
9.6	Nutanix 社への問い合わせについて	56
9.7	Cisco 社への問い合わせについて	56
9.8	Nutanix リンク集	56
10.	改訂履歴	58

免責事項

- 本文書は、2024 年 12 月 18 日時点の情報に基づき作成されたものです。本文書作成以降にリリースされたバージョンにて、仕様の追加・変更・削除が行われている場合がございます。正式な仕様は Nutanix サポートポータルに掲載されたリリースノートや最新の製品ドキュメントをご参照ください。
- 本文書の記述が正確なものとなるように努めましたが、本文書に含まれるすべての情報が完全に正確であることを保証するものではありません。また、本文書の内容に起因する直接的および間接的な損害に対してダイワボウ情報システム株式会社、およびディーアイエスサービス&ソリューション株式会社は一切の責任を負いません。
- 本文書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本文書に記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

1. はじめに

1.1 本手順書について

本手順書は弊社 Nutanix Foundation 作業にて設定した Nutanix を設置・起動し、設定の確認に必要な手順を記載したものです。

1.2 対象となる製品・バージョン

本手順書では以下の製品(Intersight(SaaS)管理用の Standalone Servers)に対する手順を記載しています。異なる製品、バージョンをご利用の場合は、手順が一部異なる可能性がありますので、ご注意ください。

※Fabric Interconnect に関しては対象外となります。

Nutanix ノード	・M6 シリーズ HCIAF220C M6S (All Flash) HCIAF220C M6SN (All NVMe) HCIAF240C M6SX (All Flash) ・M7 シリーズ HCIAF220C M7S (All Flash) HCIAF220C M7SN (All NVMe) HCIAF240C M7SX (All Flash) HCIAF240C M7SN (All NVMe)
ハイパーバイザー	AHV
AOS	6.10 (LTS)

1.3 作業の流れ

本手順書は、以下の流れで作業を実施する際の手順を記載しています。

- Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix (Intersight Standalone Mode: ISM)の設置
- Nutanix の起動
- 設定内容の確認
- Prism Central のデプロイ・設定
- Nutanix の停止

2. 事前準備

2.1 操作端末の用意

Nutanix の操作、確認作業に使用する操作端末(PC)をご用意ください。

本手順書では、ブラウザを使用して Nutanix の Web 管理画面である Prism、Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix の管理エンジン/ツールである CIMC、SaaS 型の運用管理プラットフォームである Intersight にアクセスします。操作端末に以下のブラウザがインストールされていることをご確認ください。本手順書では Google Chrome を使用しています。

〈Prism サポートブラウザ〉

- Google Chrome
- Firefox
- Safari
- Microsoft Edge

〈CIMC サポートブラウザ〉

- Google Chrome
- Firefox
- Safari

〈Intersight サポートブラウザ〉

- Google Chrome
- Firefox
- Safari
- Microsoft Edge

また、操作端末から CVM、ハイパーバイザー(AHV)に SSH 接続しますので、ターミナルソフトがインストールされていることをご確認ください。本手順書では TeraTerm を使用しています。

操作端末が、CVM、ハイパーバイザー(AHV)、CIMC にアクセスできるようなネットワーク環境をご準備ください。

3. Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix 対応機種の設置

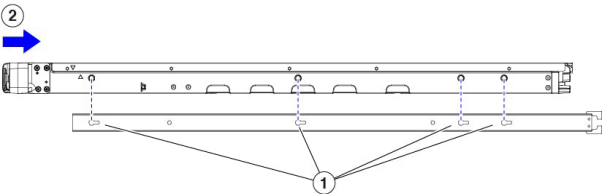
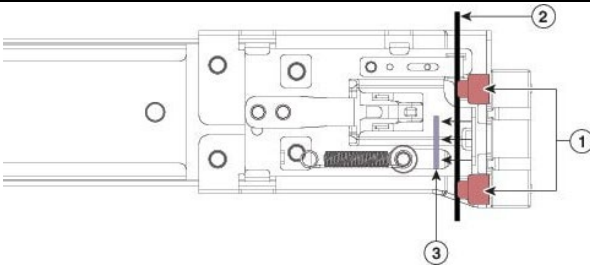
Cisco UCS HCIAF220C M6 (All-Flash/ All-NVMe)、HCIAF240C M6 All-Flash、HCIAF220C M7 (All-Flash/ All-NVMe)、HCIAF240C M7 (All-Flash/ All-NVMe)をラックマウントし、電源ケーブル、ネットワークケーブルを接続します。

C220 M6 を設置される場合は「[Cisco UCS HCIAF220C M6 の設置](#)」、C240 M6 を設置される場合は「[Cisco UCS HCIAF240C M6 の設置](#)」、C220 M7 を設置される場合は「[Cisco UCS HCIAF220C M7 の設置](#)」、C240 M7 を設置される場合は「[Cisco UCS HCIAF240C M7 の設置](#)」をご参照ください。

3.1 Cisco UCS HCIAF220C M6 の設置

3.1.1 HCIAF220C M6 ラッキング

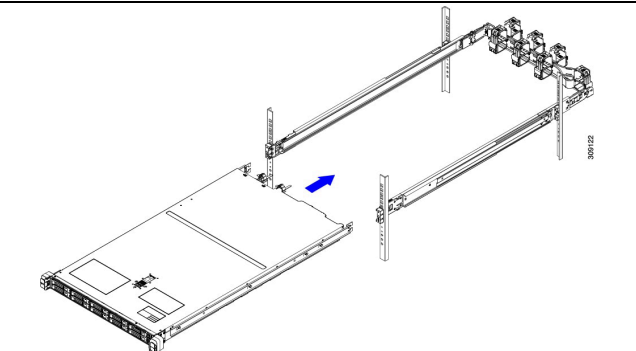
以下の手順でラックマウントします。

1. サーバーの側面に内側レールを装着します。 レール内の 3 つのキー付きスロット(①)がサーバー側面の 3 個のペグの位置に合うように、内側レールをサーバーの一方の側の位置に合わせます。 ①をペグに設定し、レールを前面に向けてスライド(②)させて、ペグの所定の位置にロックします。 2 つ目の内側レールをサーバーの反対側に取り付けます。	 <table><tr><td>1</td><td>レールのキー付きスロット</td><td>2</td><td>サーバー前面のキー付きスロットへスライドさせる</td></tr></table>	1	レールのキー付きスロット	2	サーバー前面のキー付きスロットへスライドさせる				
1	レールのキー付きスロット	2	サーバー前面のキー付きスロットへスライドさせる						
2. 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。 スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレート(③)があります。取り付けペグ(①)をラック支柱の穴に挿入する前に、③が開いている必要があります。 部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、③を開きます。 外側のスライドレールをラックに取り付けます。ラックの前面から見て左にアウターレール(LEFT)、右にアウターレール(RIGHT)を取り付けます。アウターレールの丸い突起を 19 型ラックの角穴に入れて取り付けます。このときに「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。	 <table><tr><td>1</td><td>前面側の取り付けペグ</td><td>3</td><td>開いた位置に引き戻された固定プレート</td></tr><tr><td>2</td><td>取り付けペグと開いた固定プレートとの間のラック支柱</td><td>-</td><td></td></tr></table>	1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート	2	取り付けペグと開いた固定プレートとの間のラック支柱	-	
1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート						
2	取り付けペグと開いた固定プレートとの間のラック支柱	-							

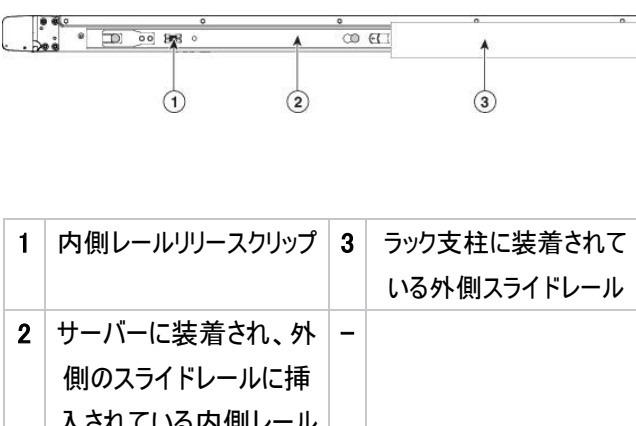
3. サーバーを次のようにスライドレールに装着します。

サーバーの側面に装着されている内側レールの後端を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。

内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。



4. 両方の内側レールで内側レール リリース クリップ (①)を背面に向けてスライドさせたら、前面のスラムラッチがラック支柱に収まるまで、サーバーをラックに押し込みます。



1	内側レールリリースクリップ	3	ラック支柱に装着されている外側スライドレール
2	サーバーに装着され、外側のスライドレールに挿入されている内側レール	-	

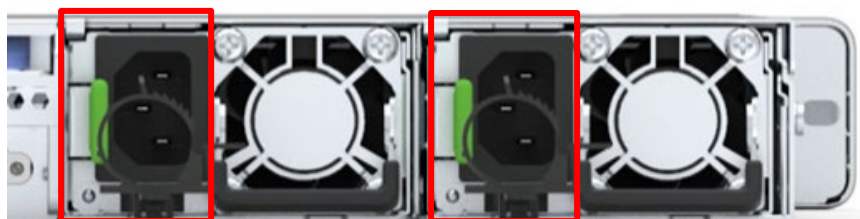
以上でラックマウント作業は完了です。

3.1.2 HCIAF220C M6 電源ケーブルの接続

電源コードをサーバーの各電源装置に接続し、次に接地された電源コンセントに各コードを接続します。

※最初のブート中、サーバーがスタンバイ電源でブートするまでに約 2 分かかります。

※システムの電源ステータスは、前面パネルのシステムの電源ステータス LED で確認できます。LED がオレンジの場合、サーバーはスタンバイ電源モードです。



3.1.3 HCIAF220C M6 ネットワークケーブルの接続

- 各ノードの 10Gbps ネットワークインターフェースとネットワークスイッチを接続します。1 ノードにつき 2 ポート以上接続してください。
- サーバーが SFP+コネクタを持つ場合は、SFP+コネクタとネットワークスイッチを対応ケーブル・モジュールで接続してください。
- 弊社の Foundation 作業実施後は、アクティブ-バックアップモードでボンディング(チーミング)が組まれています。

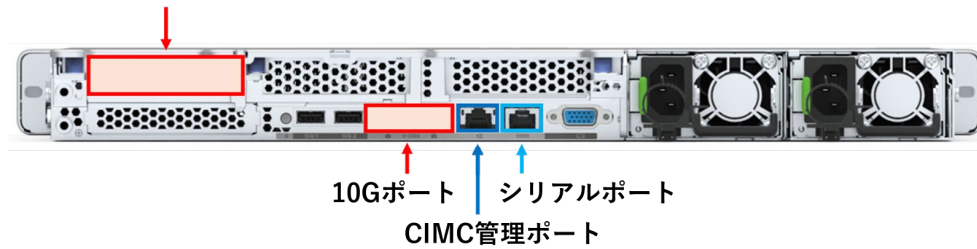
ボンディングモードの変更方法などは Nutanix サポートポータル内の資料をご参照ください。

- ・ CIMC 管理ポートをネットワークスイッチに接続します。CVM・ハイパーバイザー(AHV)と CIMC が異なるネットワークに属する場合は、ルーティングさせて通信できるようにしてください。

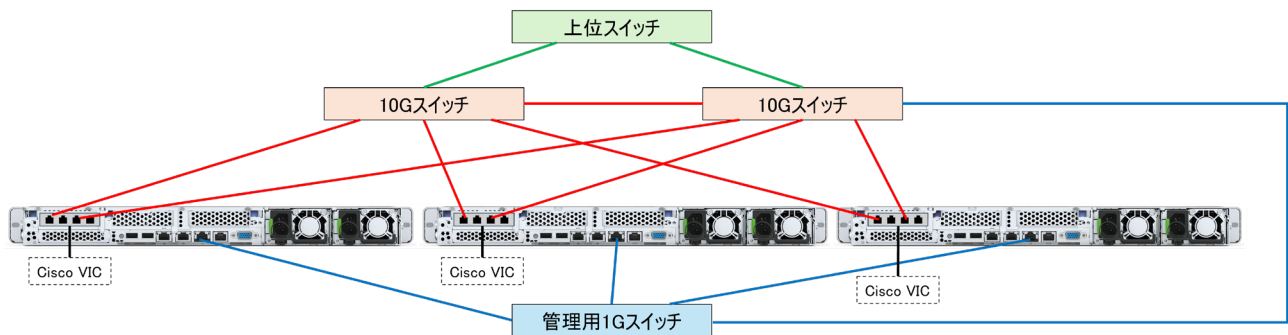
[ポート配置]

※機器構成により 10Gbps ネットワークインターフェースの配置は異なります

10G (Cisco VIC)ポート



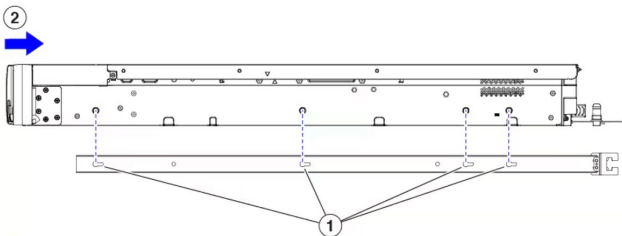
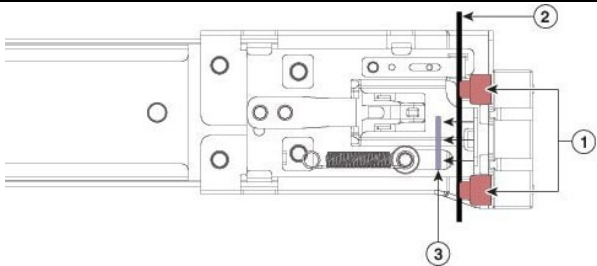
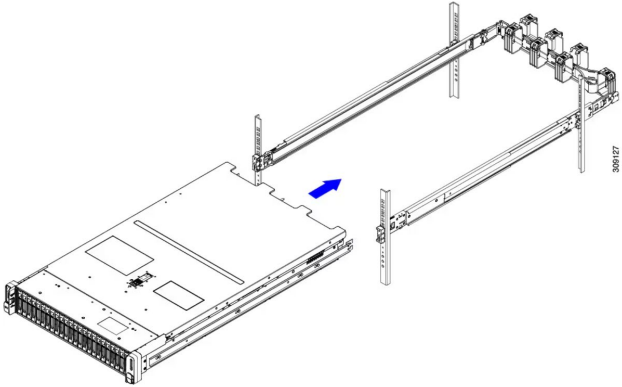
[接続例]



3.2 Cisco UCS HCIAF240C M6 の設置

3.2.1 HCIAF240C M6 ラッキング

以下の手順でラックマウントします。

1. サーバーの側面に内側レールを装着します。 レール内の 3 つのキー付きスロット(①)がサーバー側面の 3 個のペグの位置に合うように、内側レールをサーバーの一方の側の位置に合わせます。 ①をペグに設定し、レールを前面に向けてスライド(②)させて、ペグの所定の位置にロックします。 2 つ目の内側レールをサーバーの反対側に取り付けます。	 <table><tr><td>1</td><td>レールのキー付きスロット</td><td>2</td><td>サーバー前面のキー付きスロットへスライドさせる</td></tr></table>	1	レールのキー付きスロット	2	サーバー前面のキー付きスロットへスライドさせる				
1	レールのキー付きスロット	2	サーバー前面のキー付きスロットへスライドさせる						
2. 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。 スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレート(③)があります。取り付けペグ(①)をラック支柱の穴に挿入する前に、③が開いている必要があります。 部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、③を開きます。 外側のスライドレールをラックに取り付けます。ラックの前面から見て左にアウターレール(LEFT)、右にアウターレール(RIGHT)を取り付けます。アウターレールの丸い突起を 19 型ラックの角穴に入れて取り付けます。このときに「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。	 <table><tr><td>1</td><td>前面側の取り付けペグ</td><td>3</td><td>開いた位置に引き戻された固定プレート</td></tr><tr><td>2</td><td>取り付けペグと開いた固定プレート間のラック支柱</td><td>-</td><td></td></tr></table>	1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート	2	取り付けペグと開いた固定プレート間のラック支柱	-	
1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート						
2	取り付けペグと開いた固定プレート間のラック支柱	-							
3. サーバーを次のようにスライドレールに装着します。 サーバーの側面に装着されている内側レールの後端を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。									

4. 両方の内側レールで内側レール リリース クリップ (①)を背面に向けてスライドさせたら、前面のスラムラッチがラック支柱に収まるまで、サーバーをラックに押し込みます。

A technical diagram illustrating the three steps to insert a server into a rack. The diagram shows a side view of a rack with two horizontal rails. A server unit is being inserted from the right. Three numbered callouts point to specific components: ① points to a small release clip on the inner rail; ② points to the server's front latch mechanism; ③ points to the outer slide rail of the rack.

1	内側レールリリースクリップ	3	ラック支柱に装着されている外側スライドレール
2	サーバーに装着され、外側のスライドレールに挿入されている内側レール	-	

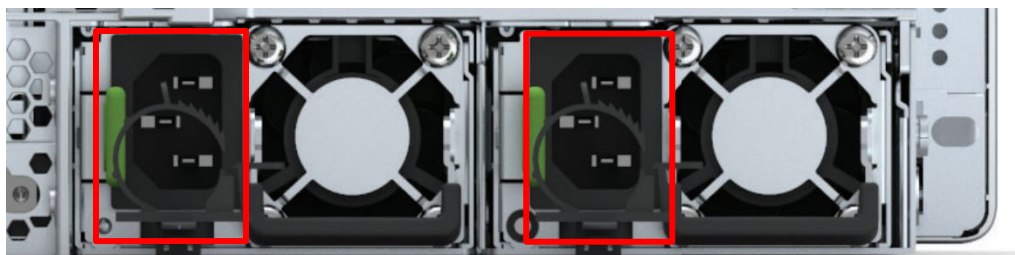
以上でラックマウント作業は完了です。

3.2.2 HClAF240C M6 電源ケーブルの接続

電源コードをサーバーの各電源装置に接続し、次に接地された電源コンセントに各コードを接続します。

※最初のブート中、サーバーがスタンバイ電源でブートするまでに約 2 分かかります。

※システムの電源ステータスは、前面パネルのシステムの電源ステータス LED で確認できます。LED がオレンジの場合、サーバーはスタンバイ電源モードです。

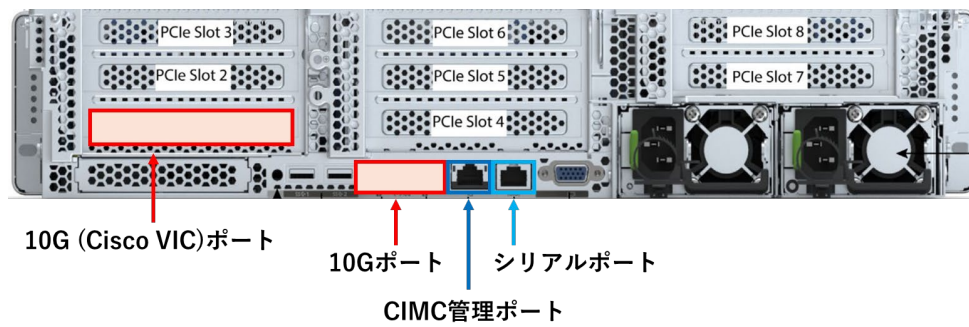


3.2.3 HClAF240C M6 ネットワークケーブルの接続

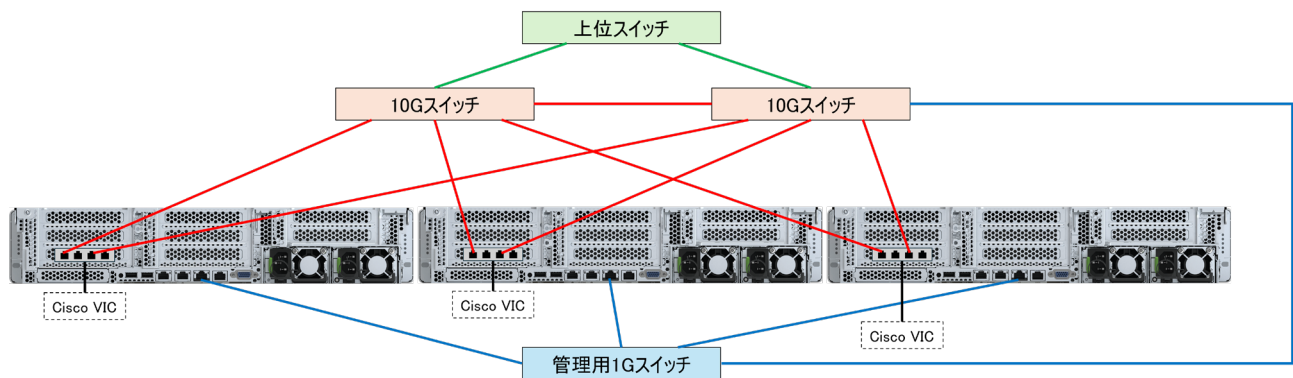
- 各ノードの 10Gbps ネットワークインターフェースとネットワークスイッチを接続します。1 ノードにつき 2 ポート以上接続してください。
- サーバーが SFP+コネクタを持つ場合は、SFP+コネクタとネットワークスイッチを対応ケーブル・モジュールで接続してください。
- 弊社の Foundation 作業実施後は、アクティブ・バックアップモードでボンディング(チーミング)が組まれています。ボンディングモードの変更方法などは Nutanix サポートポータル内の資料をご参照ください。
- CIMC 管理ポートをネットワークスイッチに接続します。CVM・ハイパーバイザー(AHV)と CIMC が異なるネットワークに属する場合は、ルーティングさせて通信できるようにしてください。

[ポート配置]

※機器構成により 10Gbps ネットワークインターフェースの配置は異なります



[接続例]



3.3 Cisco UCS HCIAF220C M7 の設置

3.3.1 HCIAF220C M7 ラッキング

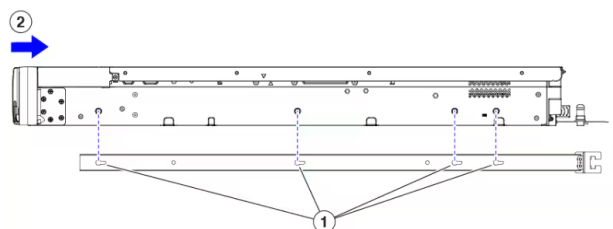
以下の手順でラックマウントします。

1. サーバーの側面に内側レールを装着します。

レール内の 3 つのキー付きスロット(①)がサーバー側面の 3 個のペグの位置に合うように、内側レールをサーバーの一方の側の位置に合わせます。

①をペグに設定し、レールを前面に向けてスライド(②)させて、ペグの所定の位置にロックします。

2 つ目の内側レールをサーバーの反対側に取り付けます。



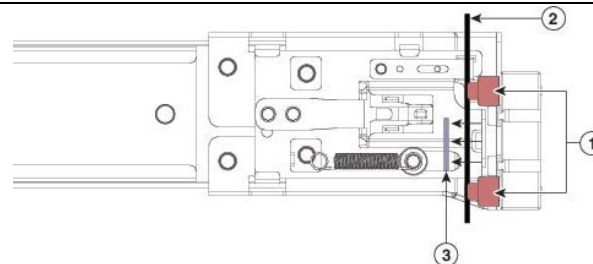
1	レールのキー付きスロット	2	サーバーの前面
---	--------------	---	---------

2. 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。

スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレート(③)があります。取り付けペグ(①)をラック支柱の穴に挿入する前に、③が開いている必要があります。

部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、③を開きます。

外側のスライドレールをラックに取り付けます。ラックの前面から見て左にアウターレール(LEFT)、右にアウターレール(RIGHT)を取り付けます。アウターレールの丸い突起を 19 型ラックの角穴に入れて取り付けます。このときに「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。

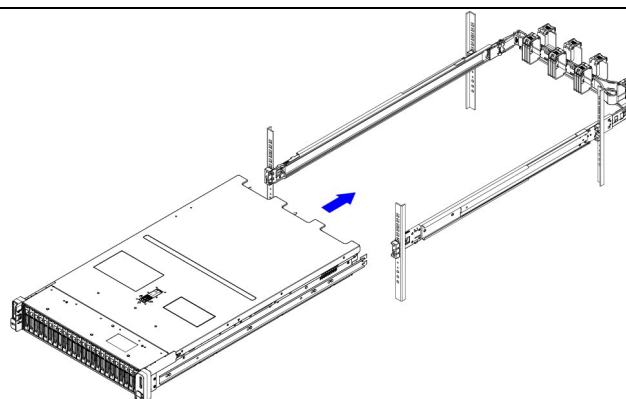


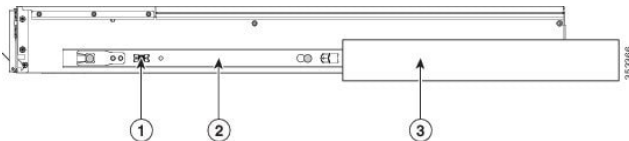
1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート
2	取り付けペグと開いた固定プレートとの間のラック支柱	-	

3. サーバーを次のようにスライドレールに装着します。

サーバーの側面に装着されている内側レールの後端を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。

内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。



4. 両方の内側レールで内側レール リリース クリップ (①)を背面に向けてスライドさせたら、前面のスラム ラッチがラック支柱に収まるまで、サーバーをラックに押し込みます。				
	1	内側レールリリースクリップ	3	ラック支柱に装着されている外側スライドレール
	2	サーバーに装着され、外側のスライドレールに挿入されている内側レール	-	

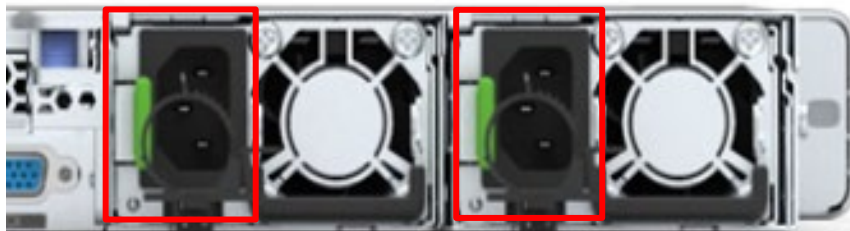
以上でラックマウント作業は完了です。

3.3.2 HClAF220C M7 電源ケーブルの接続

電源コードをサーバーの各電源装置に接続し、次に接地された電源コンセントに各コードを接続します。

※最初のブート中、サーバーがスタンバイ電源でブートするまでに約 2 分かかります。

※システムの電源ステータスは、前面パネルのシステムの電源ステータス LED で確認できます。LED がオレンジの場合、サーバーはスタンバイ電源モードです。

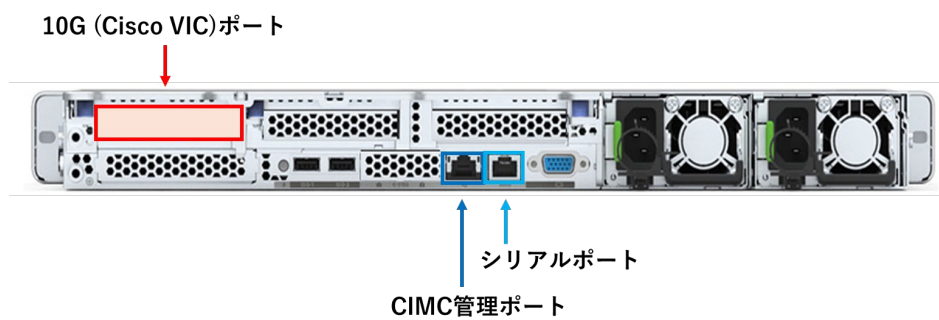


3.3.3 HClAF220C M7 ネットワークケーブルの接続

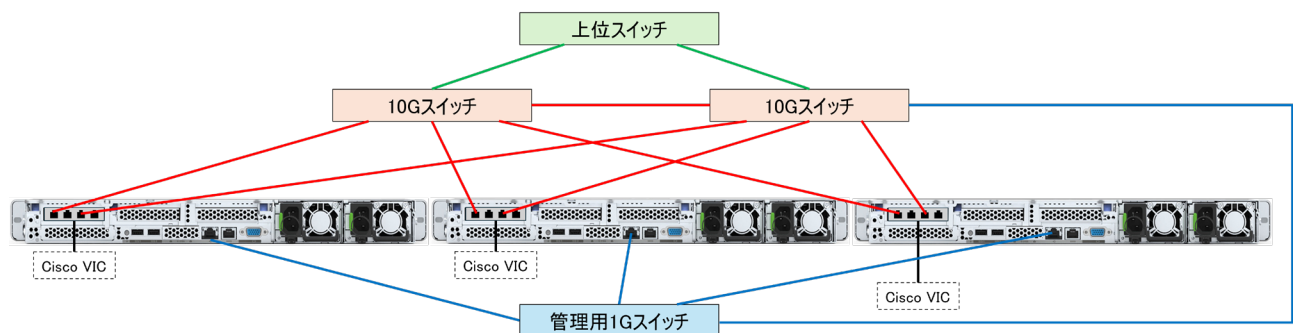
- 各ノードの 10Gbps ネットワークインターフェースとネットワークスイッチを接続します。1 ノードにつき 2 ポート以上接続してください。
- サーバーが SFP+コネクタを持つ場合は、SFP+コネクタとネットワークスイッチを対応ケーブル・モジュールで接続してください。
- 弊社の Foundation 作業実施後は、アクティブバックアップモードでボンディング(チーミング)が組まれています。ボンディングモードの変更方法などは Nutanix サポートポータル内の資料をご参照ください。
- CIMC 管理ポートをネットワークスイッチに接続します。CVM・ハイパーバイザー(AHV)と CIMC が異なるネットワークに属する場合は、ルーティングさせて通信できるようにしてください。

[ポート配置]

※機器構成により 10Gbps ネットワークインターフェースの配置は異なります



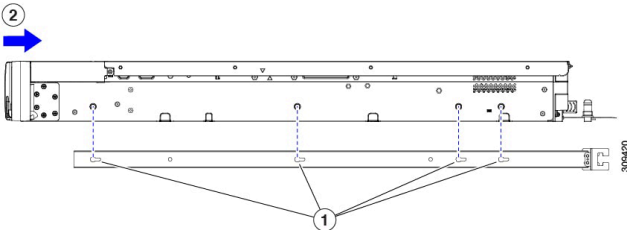
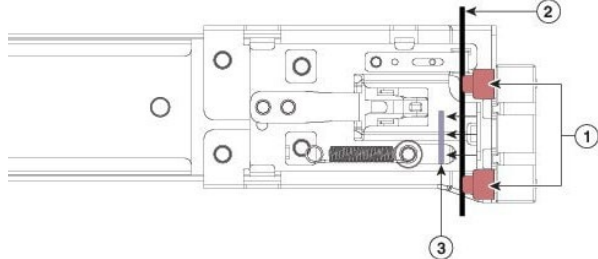
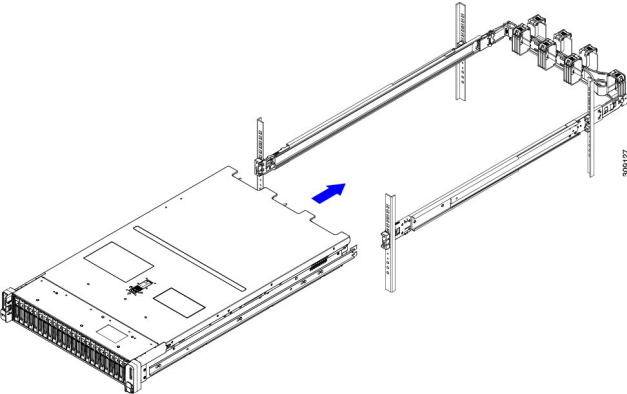
[接続例]

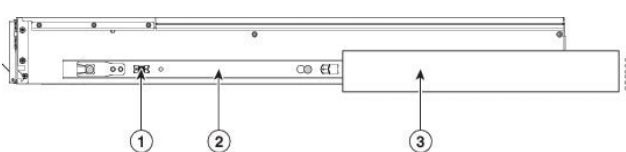


3.4 Cisco UCS HCIAF240C M7 の設置

3.4.1 HCIAF240C M7 ラッキング

以下の手順でラックマウントします。

1. サーバーの側面に内側レールを装着します。 レール内の 3 つのキー付きスロット(①)がサーバー側面の 3 個のペグの位置に合うように、内側レールをサーバーの一方の側の位置に合わせます。 ①をペグに設定し、レールを前面に向けてスライド(②)させて、ペグの所定の位置にロックします。 2 つ目の内側レールをサーバーの反対側に取り付けます。	 <table border="1" data-bbox="793 716 1423 788"><tr><td>1</td><td>レールのキー付きスロット</td><td>2</td><td>サーバーの前面</td></tr></table>	1	レールのキー付きスロット	2	サーバーの前面				
1	レールのキー付きスロット	2	サーバーの前面						
2. 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。 スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレート(③)があります。取り付けペグ(①)をラック支柱の穴に挿入する前に、③が開いている必要があります。 部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、③を開きます。 外側のスライドレールをラックに取り付けます。ラックの前面から見て左にアウターレール(LEFT)、右にアウターレール(RIGHT)を取り付けます。アウターレールの丸い突起を 19 型ラックの角穴に入れて取り付けます。このときに「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。	 <table border="1" data-bbox="817 1180 1383 1433"><tr><td>1</td><td>前面側の取り付けペグ</td><td>3</td><td>開いた位置に引き戻された固定プレート</td></tr><tr><td>2</td><td>取り付けペグと開いた固定プレートとの間のラック支柱</td><td>-</td><td></td></tr></table>	1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート	2	取り付けペグと開いた固定プレートとの間のラック支柱	-	
1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート						
2	取り付けペグと開いた固定プレートとの間のラック支柱	-							
3. サーバーを次のようにスライド レールに装着します。 サーバーの側面に装着されている内側レールの後端を、ラック上の空のスライド レールの前端の位置に合わせます。 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライド レールに押し込みます。									

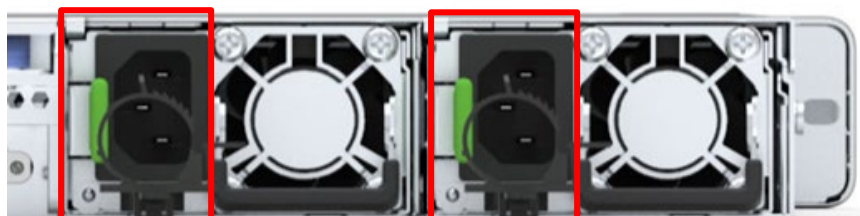
4. 両方の内側レールで内側レール リリース クリップ (①)を背面に向けてスライドさせたら、前面のスラムラッチがラック支柱に収まるまで、サーバーをラックに押し込みます。				
	1	内側レールリリースクリップ	3	ラック支柱に装着されている外側スライドレール
	2	サーバーに装着され、外側のスライドレールに挿入されている内側レール	-	

以上でラックマウント作業は完了です。

3.4.2 HClAF240C M7 電源ケーブルの接続

電源コードをサーバーの各電源装置に接続し、次に接地された電源コンセントに各コードを接続します。
※最初のブート中、サーバーがスタンバイ電源でブートするまでに約 2 分かかります。

※システムの電源ステータスは、前面パネルのシステムの電源ステータス LED で確認できます。LED がオレンジの場合、サーバーはスタンバイ電源モードです。

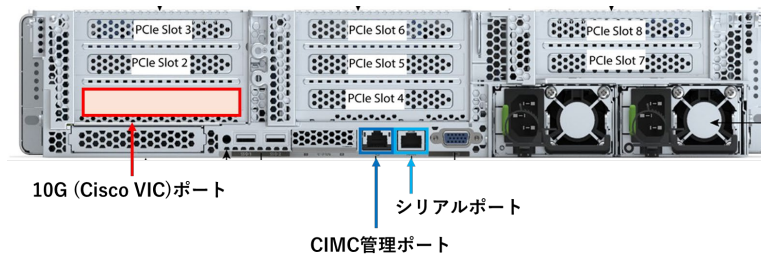


3.4.3 HClAF240C M7 ネットワークケーブルの接続

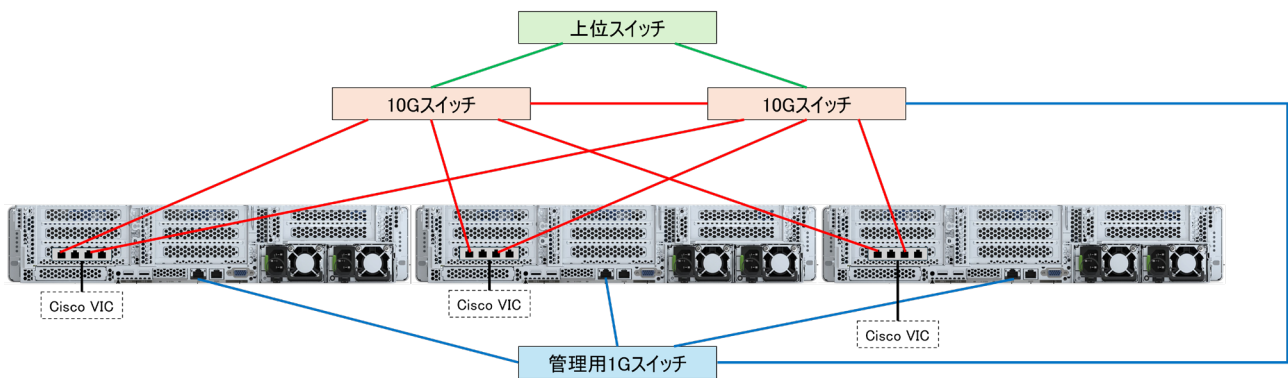
- 各ノードの 10Gbps ネットワークインターフェースとネットワークスイッチを接続します。1 ノードにつき 2 ポート以上接続してください。
- サーバーが SFP+コネクタを持つ場合は、SFP+コネクタとネットワークスイッチを対応ケーブル・モジュールで接続してください。
- 弊社の Foundation 作業実施後は、アクティブ・バックアップモードでボンディング(チーミング)が組まれています。ボンディングモードの変更方法などは Nutanix サポートポータル内の資料をご参照ください。
- CIMC 管理ポートをネットワークスイッチに接続します。CVM・ハイパーバイザー(AHV)と CIMC が異なるネットワークに属する場合は、ルーティングさせて通信できるようにしてください。

[ポート配置]

※機器構成により 10Gbps ネットワークインターフェースの配置は異なります



[接続例]

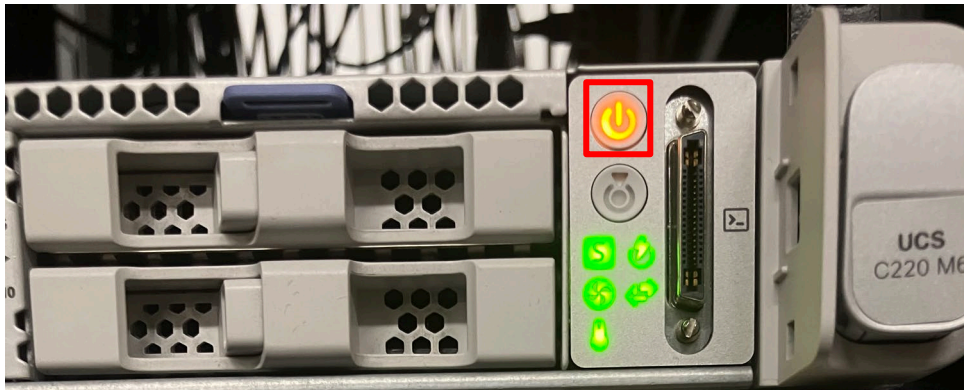


4. Nutanix の起動

Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix ノードの電源を投入し、Nutanix を起動します。

4.1. Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix ノードの起動

前面のオレンジ色に点灯している電源ボタンを押します。全てのノードに対して実施します。



例：UCS C220 M6S の電源ボタン

ハイパーバイザー(AHV)、CVM が起動するまで 10～15 分間待ちます。

4.2. CIMC からのステータス確認

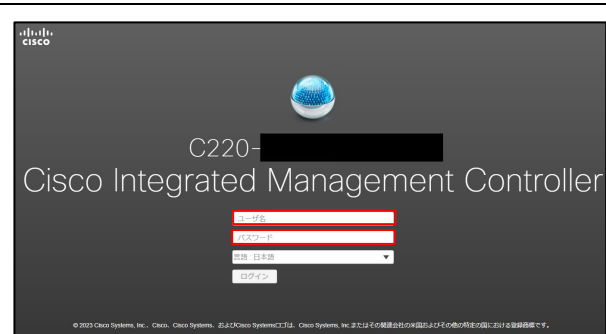
CIMC に操作端末のブラウザからアクセスすることで、サーバーのステータス、コンソール画面を確認することができます。CIMC へのアクセスに必要な情報は以下の通りです。

CIMC ログイン情報

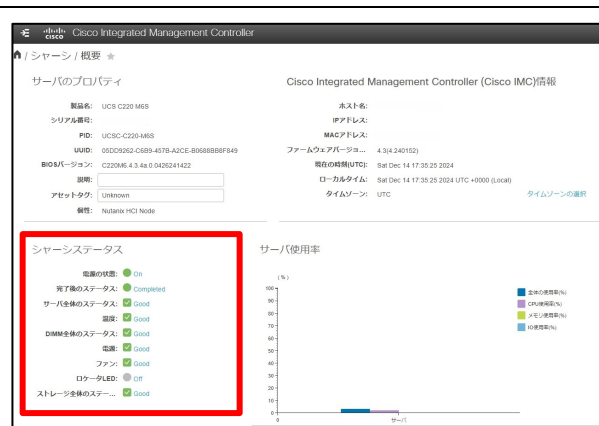
URL	https://「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた CIMC のIPアドレス
ユーザー名	admin
パスワード	「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた CIMC のパスワード

以下の手順にて CIMC にアクセスします。

1. ブラウザから CIMC にアクセスし、ユーザー名(admin)とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。



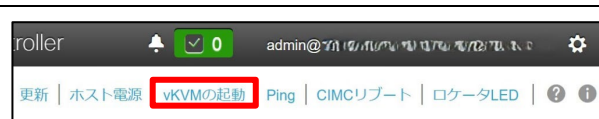
2. ログインが成功すると「シャーシの概要」画面が表示されます。
「シャーシステータス」欄を確認します。



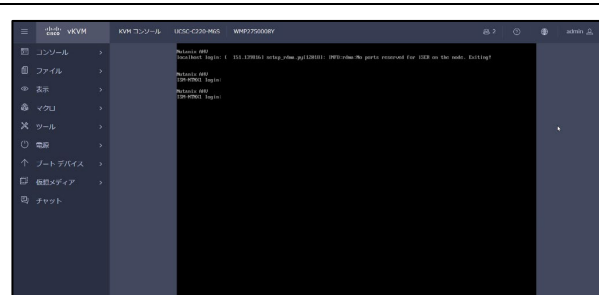
3. サーバーのハードウェアが正常に動作している場合は、「サーバー全体のステータス」に Good と表示されます。



4. 画面表示を確認したいときは、画面右上の「vKVM の起動」をクリックします。



5. コンソール画面が表示されます。BIOS やハイパーバイザー(AHV)の画面表示を確認することができます。



4.3. ハイパーバイザー(AHV)へのログイン確認

ハイパーバイザー(AHV)に操作端末から SSH で接続し、正常に起動しているか確認します。

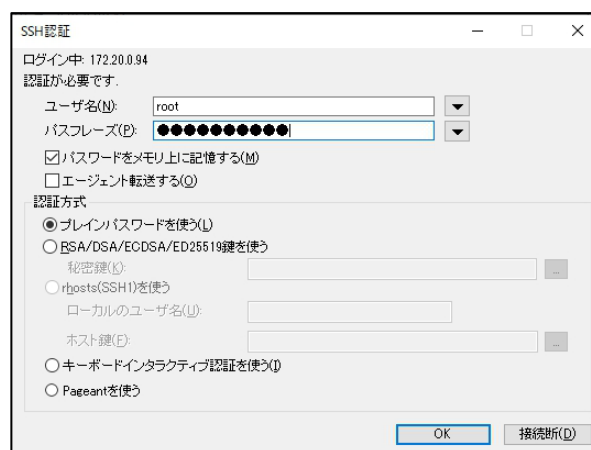
ハイパーバイザー(AHV)へのログインに必要な情報は以下の通りです。

ハイパーバイザー(AHV)ログイン情報

IP アドレス	「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたハイパーバイザーのIPアドレス
ユーザー名	root
パスワード	nutanix/4u

以下の手順にてハイパーバイザー(AHV)にアクセスします。

1. TeraTerm などの SSH クライアントからハイパーバイザー(AHV)に接続します。



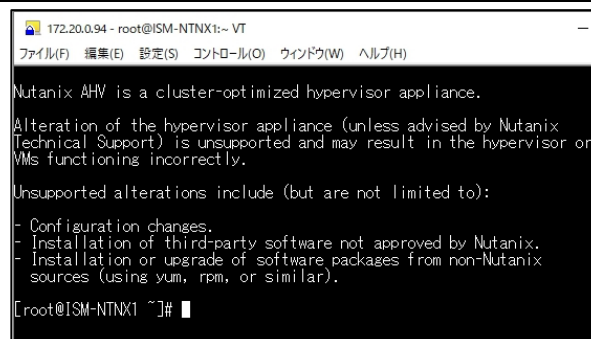
2. ログインに成功すると、以下のコマンドプロンプトが表示されます。

```
[root@AHV ホスト名~]#
```

正常に接続できない場合は、ネットワーク接続などをご確認ください。

exit コマンドでログアウトできます。

本手順をすべてのノードのハイパーバイザー(AHV)に対して実施してください。



4.4. CVM へのログイン確認

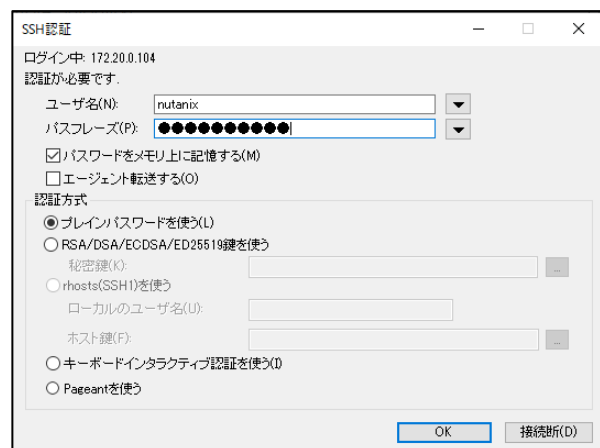
CVM に操作端末から SSH で接続し、正常に起動しているか確認します。
CVM へのログインに必要な情報は以下の通りです。

CVM ログイン情報

IP アドレス	「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた CVM IPアドレス
ユーザー名	nutanix
パスワード	nutanix/4u

以下の手順にて CVM にアクセスします。

1. TeraTerm などの SSH クライアントから CVM に接続します。



2. ログインに成功すると、以下のコマンドプロンプトが表示されます。

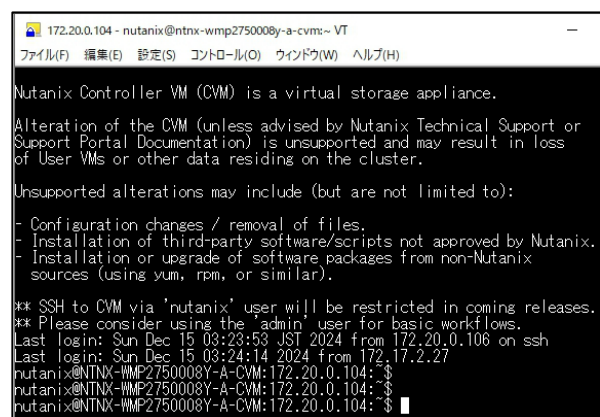
```
nutanix@CVM ホスト名:IP アドレス:$
```

正常に接続できない場合は、ネットワーク接続などをご確認ください。

exit コマンドでログアウトできます。

※次の手順では 1 台の CVM からコマンドを実行して Nutanix クラスタを起動させますので、全ての CVM からログアウトしないでください

本手順をすべてのノードの CVM に対して実施してください。



4.5. Nutanix クラスターの起動

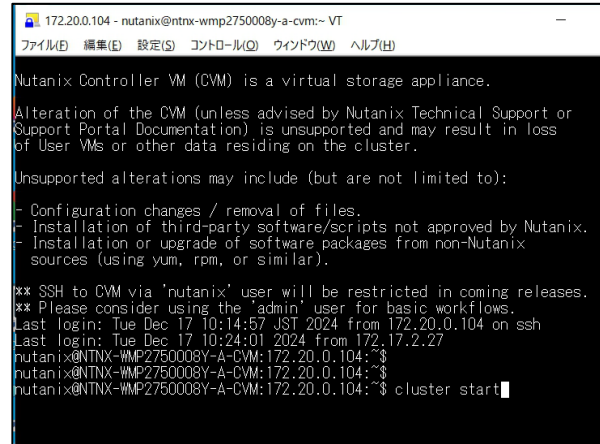
CVM から以下の手順で Nutanix クラスターを起動させます。

※Nutanix クラスターの起動は、1 台のノードの CVM から実行します。

1. CVM から以下のコマンドを実行します。

```
$ cluster start
```

クラスターが起動するまでしばらく待ちます。



```
172.20.0.104 - nutanix@ntnx-wmp2750008y-a-cvm:~ VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Nutanix Controller VM (CVM) is a virtual storage appliance.
Alteration of the CVM (unless advised by Nutanix Technical Support or
Support Portal Documentation) is unsupported and may result in loss
of User VMs or other data residing on the cluster.

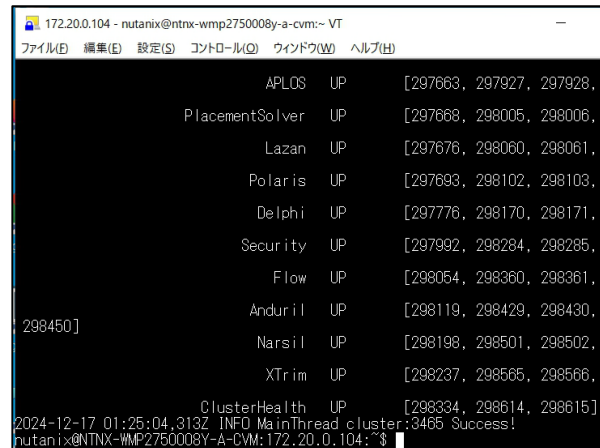
Unsupported alterations may include (but are not limited to):
- Configuration changes / removal of files.
- Installation of third-party software/scripts not approved by Nutanix.
- Installation or upgrade of software packages from non-Nutanix
  sources (using yum, rpm, or similar).

** SSH to CVM via 'nutanix' user will be restricted in coming releases.
** Please consider using the 'admin' user for basic workflows.
Last login: Tue Dec 17 10:14:57 JST 2024 from 172.20.0.104 on ssh
Last login: Tue Dec 17 10:24:01 2024 from 172.17.2.27
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$ cluster start
```

2. Nutanix クラスターの起動が完了すると以下のメッセージが表示されます。

```
INFO MainThread cluster:XXXX Success!
```

※XXXX は数字です



```
172.20.0.104 - nutanix@ntnx-wmp2750008y-a-cvm:~ VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

APLOS UP [297663, 297927, 297928,
PlacementSolver UP [297668, 298005, 298006,
Lazan UP [297676, 298060, 298061,
Polaris UP [297693, 298102, 298103,
Delphi UP [297776, 298170, 298171,
Security UP [297992, 298284, 298285,
Flow UP [298054, 298360, 298361,
Anduril UP [298119, 298429, 298430,
Narsil UP [298198, 298501, 298502,
XTrim UP [298237, 298565, 298566,
ClusterHealth UP [298334, 298614, 298615]
2024-12-17 01:25:04.313Z INFO MainThread cluster:3465 Success!
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$
```

4.6. Prism Element へのログイン

Nutanix クラスターの起動が完了したら、Nutanix の Web 管理画面である Prism Element にログインします。

Prism Element へのログインに必要な情報は以下の通りです。

Prism Element ログイン情報

IP アドレス	「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたクラスター仮想 IP アドレス ※クラスター仮想 IP アドレスをご記入いただいていない場合は、いずれか 1 ノードの CVM IP アドレスにアクセスしてください
ユーザー名	admin
パスワード	「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた admin ユーザーのパスワード

以下の手順にて Prism Element にアクセスします。

1. 操作端末の Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

https://IP アドレス:9440/

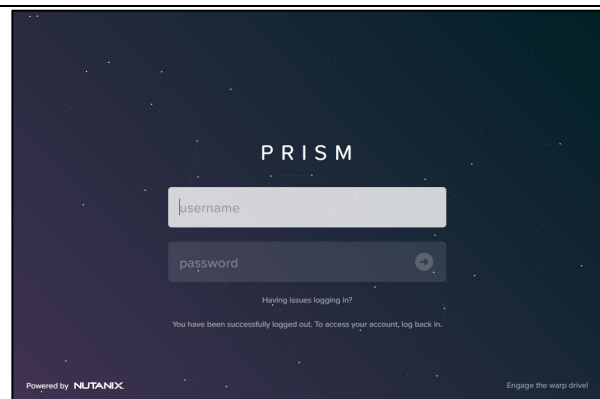
もしくは

http://IP アドレス/

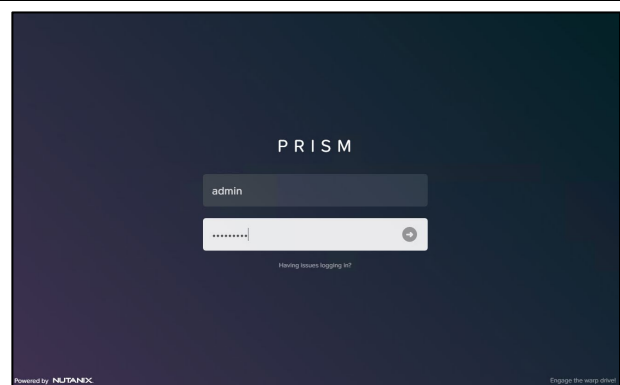
※自動で https の 9440 番ポートにリダイレクトされます

プライバシーエラーが表示された場合は続行します。

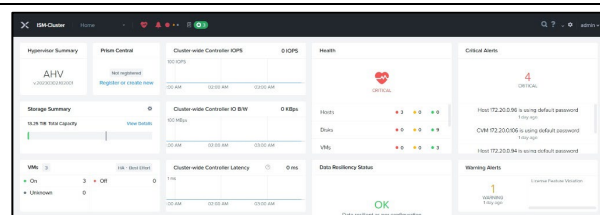
右のログイン画面が表示されます。



2. admin ユーザーとパスワードを入力し、Enter キーまたは「→」ボタンをクリックします。



3. Prism Element の画面が表示されます。



以上で Nutanix の起動は完了です。

5. Intersight (SaaS) ステータス確認

SaaS 型の運用管理プラットフォームである Intersight に操作端末のブラウザからアクセスすることで、サーバーのステータス画面を確認することができます。

Intersight ログイン情報

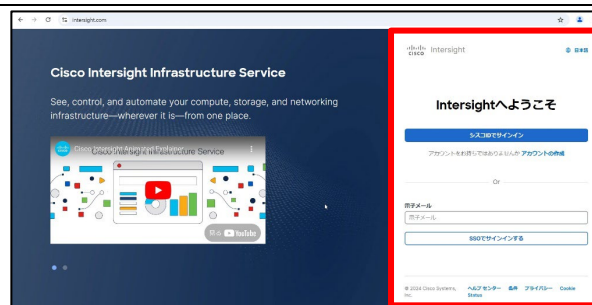
URL	https://intersight.com/.
Cisco ID	お客様のシスコアカウント
パスワード	お客様のシスコアカウントのパスワード

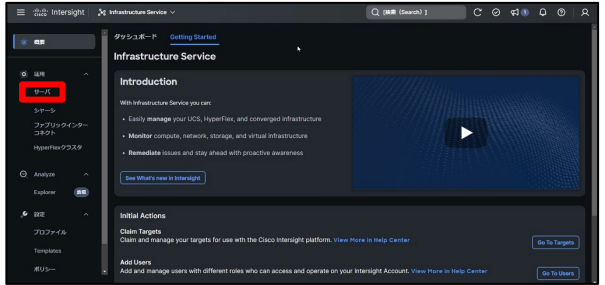
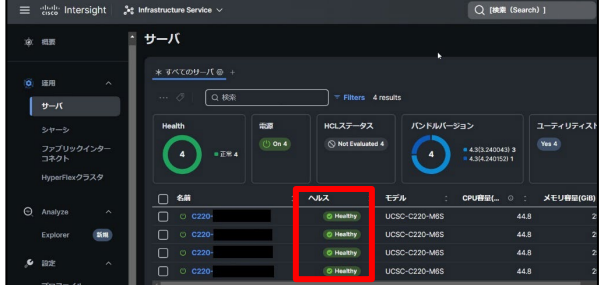
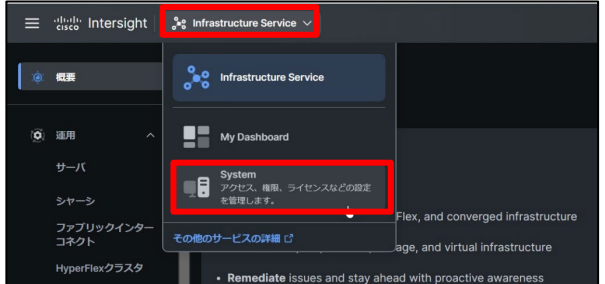
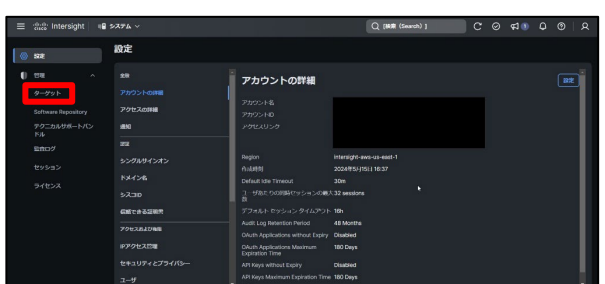
5.1 Intersight (SaaS)管理画面でのステータス確認

1. 操作端末の Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

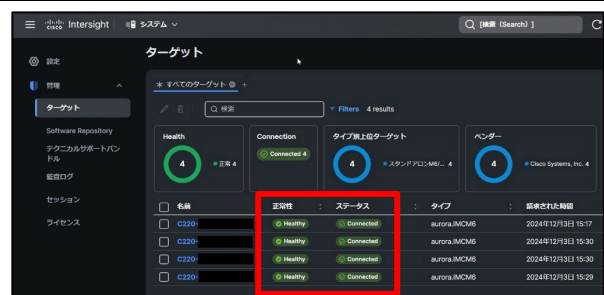
[https://intersight.com/.](https://intersight.com/)

右のログイン画面が表示されますので、「シスコ ID でサインイン」をクリックします。



2. シスコアカウントの「電子メールアドレス」を入力し、「次へ」をクリックします。 続いて「パスワード」を入力し、「確認」をクリックします。	
3. Infrastructure Service の画面が表示されます。左のメニュー欄から「サーバー」をクリックします。	
4. Intersight に登録しているサーバーの状態が表示され、正常に動作している場合はヘルスに「Healthy」と表示されます。	
5. 画面左上の「Infrastructure Service」をクリックし、続いて「System」をクリックします。	
6. アカウントの詳細画面が表示されます。下記情報などを確認できます。 アカウント名: Intersight のアカウント名 アクセスリンク: Intersight へのアクセス URL Region: Intersight の利用先地域 次に左メニューの「ターゲット」をクリックします。	

7. Intersight に登録しているサーバーの状態が表示され、正常に動作している場合は正常性に「Healthy」と表示されます。サーバーと接続されていれば、ステータスに「Connected」と表示されます。



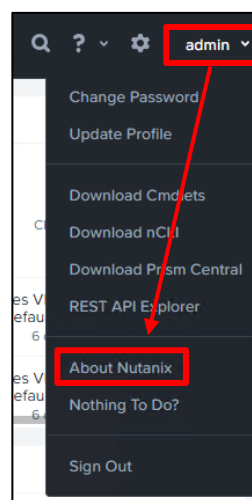
6. 設定内容の確認

ここでは設定内容の確認作業を実施します。お手元に「Foundation 作業依頼書」をご用意ください。
前章までの手順にて Nutanix クラスターが起動し、Prism Element、CVM にログインできる状態である必要があります。

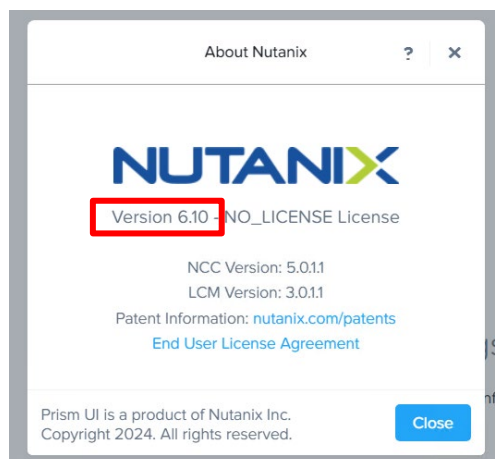
6.1. AOS バージョンの確認

以下の手順にて AOS のバージョンを確認します。

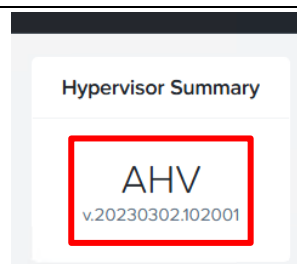
1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の「admin」をクリックし、「About Nutanix」をクリックします。



2. 表示された Version 番号をご確認いただき、「Foundation 作業依頼書」の「AOS のバージョン」と相違が無いことをご確認ください。



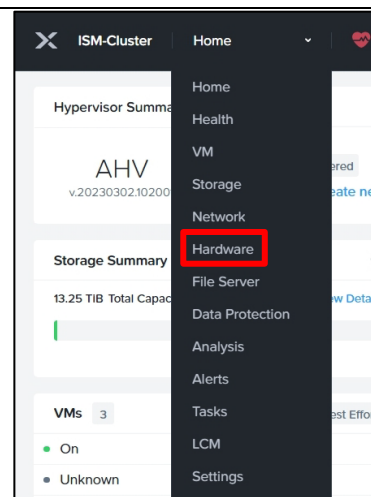
3. AOS 6.8 以降では、AOS のバージョンと互換性のあるハイパーバイザー(AHV)を指定してインストールしております。AHV のバージョンは Prism Element ログイン直後のページの「Hypervisor Summary」にてご確認ください。



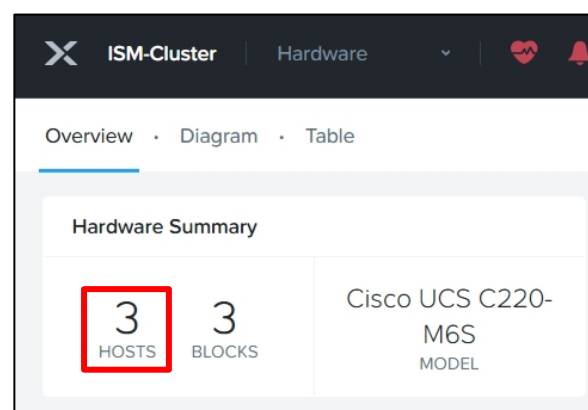
6.2. ノード数・ノードの IP アドレスの確認

以下の手順にてノード数と各ノードに設定されている IP アドレスを確認します。

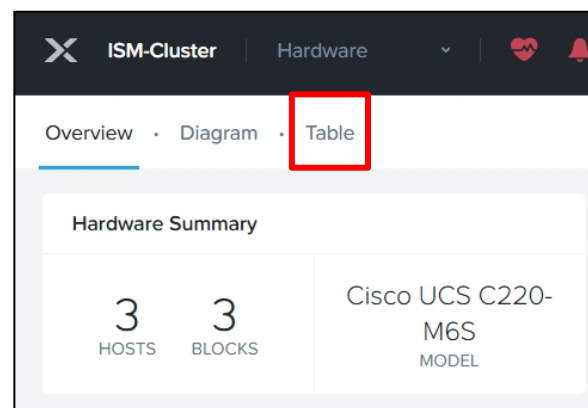
1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面上の「Home」をクリックし、「Hardware」をクリックします。



2. ハードウェアの概要が表示されます。「Hardware Summary」欄の HOSTS(ホスト数)に表示されたノード数が実際のノード数と一致していることをご確認ください。



3. 引き続きノードに設定されている IP アドレスの確認作業を実施します。「Table」をクリックします。



4. ノードに設定されたホスト名、ハイパーバイザーIP アドレス、CVM の IP アドレスが表示されます。
「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたホスト名、IP アドレスと相違が無いことをご確認ください。

Overview · Diagram · Table

Host Disk Switch

Host Name	Host IP	CVM IP	Hypervisor
ISM-NTNX1	172.20.0.94	172.20.0.104	AHV
ISM-NTNX2	172.20.0.95	172.20.0.105	AHV
ISM-NTNX3	172.20.0.96	172.20.0.106	AHV

5. 「Diagram」タブにて各ノードをクリックすると、画面下部にて各ノードの CIMC IP アドレスやディスク構成、メモリ容量、CPU モデルなどがご確認いただけます。

IPMI IP : CIMC の IP アドレス

Node Serial : ノードのシリアル番号

Block Serial : Node Serial と同じ

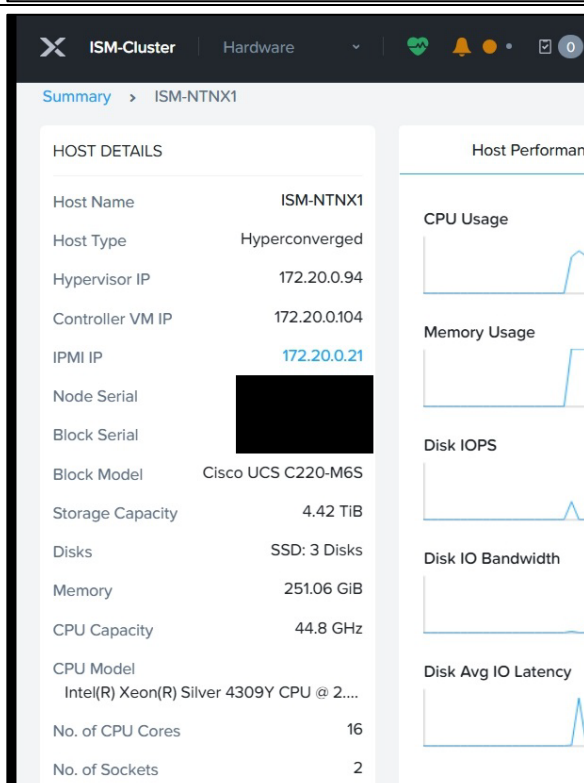
Disks : ディスク構成

Memory : メモリ容量

CPU Model : CPU モデル

No. of CPU Cores : CPU コア数

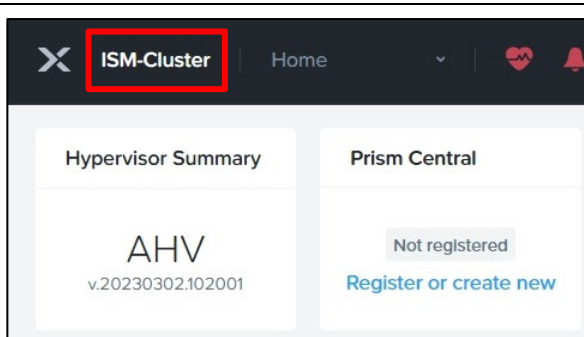
No. of CPU Sockets : CPU 数



6.3. クラスター名とクラスター仮想 IP アドレスの確認

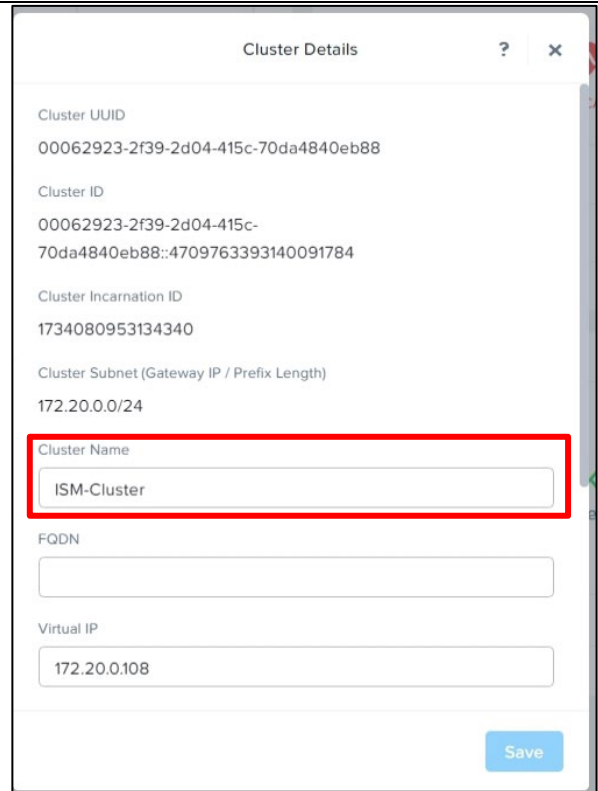
以下の手順にて Nutanix クラスター名とクラスター仮想 IP アドレスを確認します。

1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面左上の X マークの右の文字列（クラスター名）をクリックします。



2. クラスター詳細ウィンドウが表示されます。

「Cluster Name」欄にクラスター名が表示されます。
「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたクラスター名と相違が無いことをご確認ください。



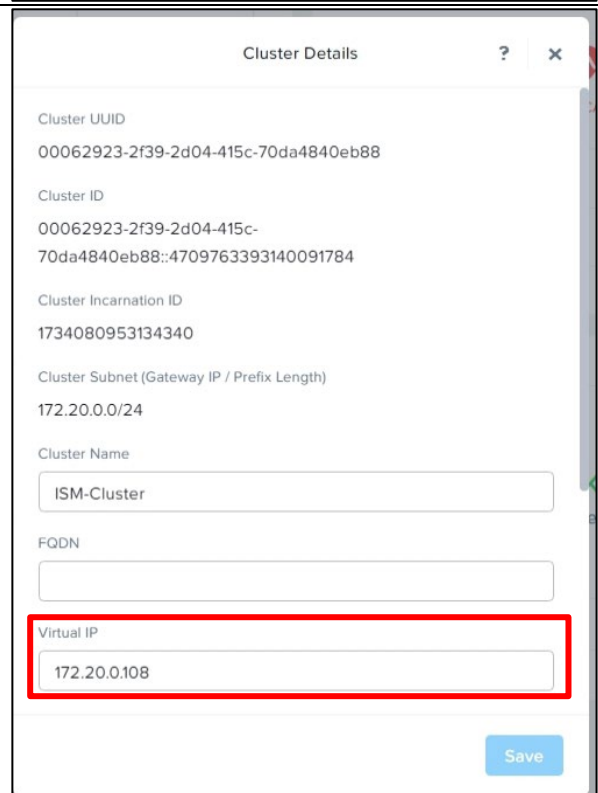
The screenshot shows the 'Cluster Details' window with the following fields and values:

- Cluster UUID: 00062923-2f39-2d04-415c-70da4840eb88
- Cluster ID: 00062923-2f39-2d04-415c-70da4840eb88::4709763393140091784
- Cluster Incarnation ID: 1734080953134340
- Cluster Subnet (Gateway IP / Prefix Length): 172.20.0.0/24
- Cluster Name: ISM-Cluster (highlighted with a red box)
- FQDN: (empty field)
- Virtual IP: 172.20.0.108
- Save button

3. 引き続き「Virtual IP」欄を確認します。

「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたクラスター仮想 IP アドレスと相違が無いことをご確認ください。

なお、クラスター仮想 IP アドレスの設定は必須ではありません。

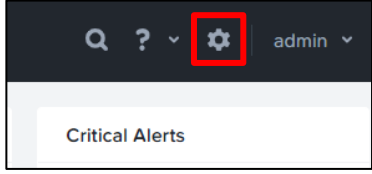
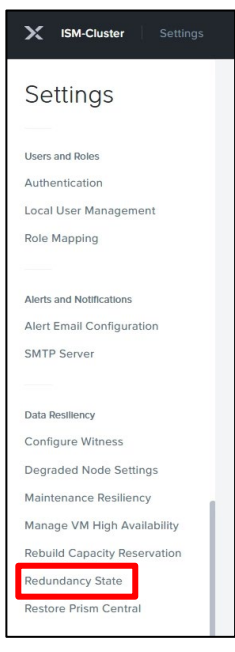
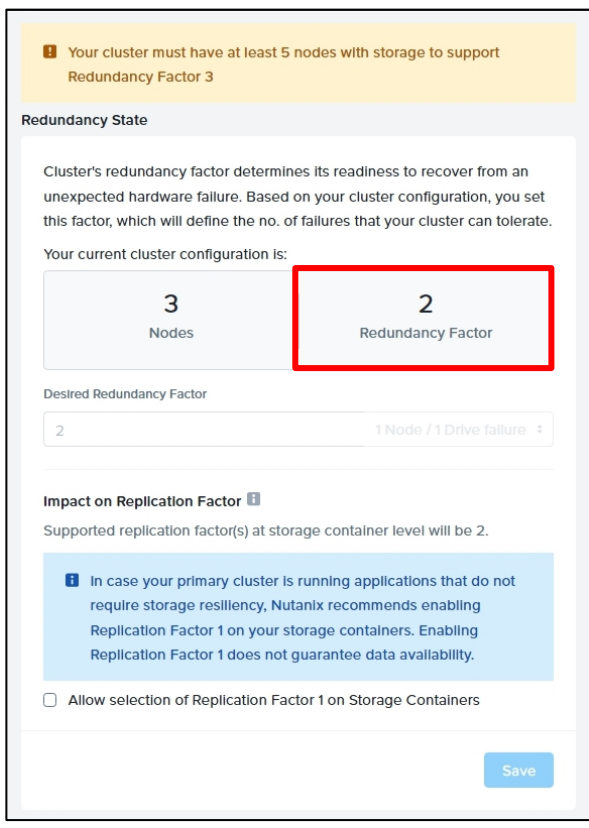


The screenshot shows the 'Cluster Details' window with the following fields and values:

- Cluster UUID: 00062923-2f39-2d04-415c-70da4840eb88
- Cluster ID: 00062923-2f39-2d04-415c-70da4840eb88::4709763393140091784
- Cluster Incarnation ID: 1734080953134340
- Cluster Subnet (Gateway IP / Prefix Length): 172.20.0.0/24
- Cluster Name: ISM-Cluster
- FQDN: (empty field)
- Virtual IP: 172.20.0.108 (highlighted with a red box)
- Save button

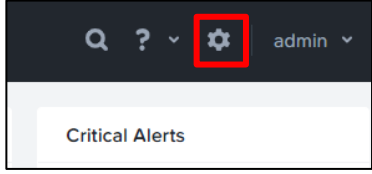
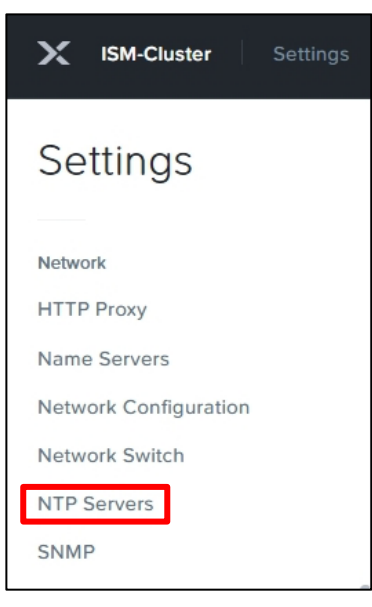
6.4. Redundancy Factor の確認

以下の手順にて Redundancy Factor を確認します。

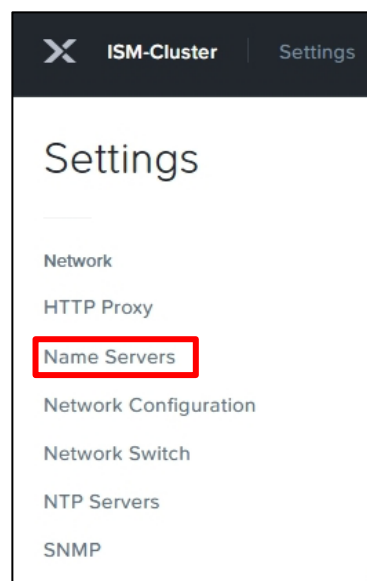
1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の歯車アイコンをクリックします。	
2. 「Settings」画面が表示されます。 「Data Resiliency」カテゴリにある「Redundancy State」をクリックします。	
3. 現在の Redundancy Factor が表示されます。 「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた Redundancy Factor と相違が無いことをご確認ください。 なお、Redundancy Factor に 3 を設定するには、5 ノード以上が必要です。	

6.5. NTP、DNS サーバーの確認

以下の手順にて NTP、DNS サーバーの設定を確認します。

1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の歯車アイコンをクリックします。	
2. 「Settings」画面が表示されます。 「Network」カテゴリーにある「NTP Servers」をクリックします。	
3. 設定されている参照先 NTP サーバーが表示されます。 「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた NTP サーバーと相違が無いことをご確認ください。 ※右画像は設定例です	

4. 引き続き DNS 設定を確認します。
「Network」カテゴリーにある「Name Servers」をクリックします。



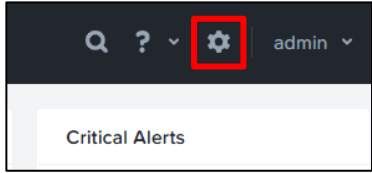
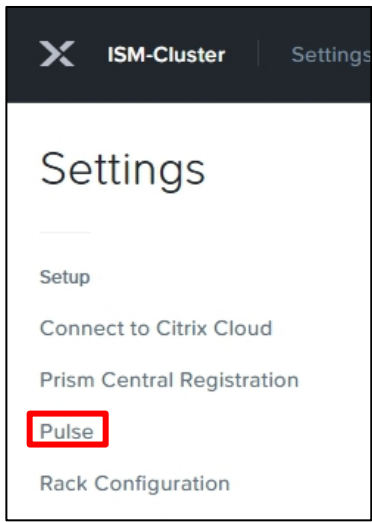
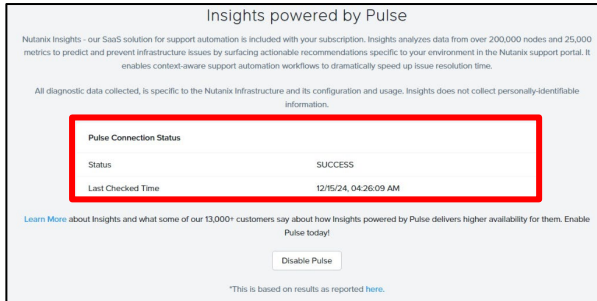
5. 設定されている参照先 DNS サーバーが表示されます。
「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた DNS サーバーと相違が無いことをご確認ください。
※右画像は設定例です



6.6. Pulse 設定値の確認

Pulse は、Nutanix が提供している診断機能の一つであり、Nutanix クラスターの構成情報、診断情報を定期的に収集し Nutanix に送信します。

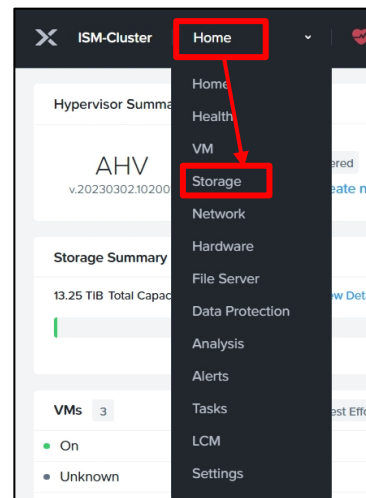
以下の手順にて Pulse の設定値を確認します。

1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の歯車アイコンをクリックします。	
2. 「Settings」画面が表示されます。 「Setup」カテゴリーにある「Pulse」をクリックします。	
3. Pulse Connection Status が表示されます。 有効の場合は、Status が「SUCCESS」と表示されています。 「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた Pulse の設定値と相違が無いことをご確認ください。	

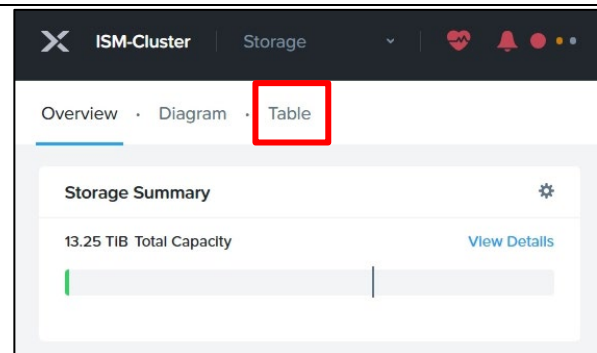
6.7. ストレージコンテナの確認

以下の手順にてストレージコンテナの状態を確認します。

1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面上の「Home」をクリックし、「Storage」をクリックします。

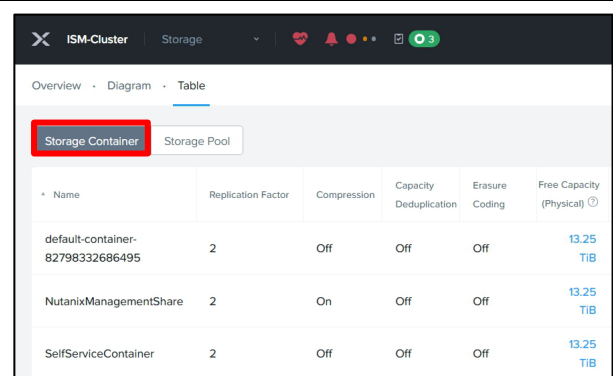


2. ストレージの概要が表示されます。「Table」をクリックします。

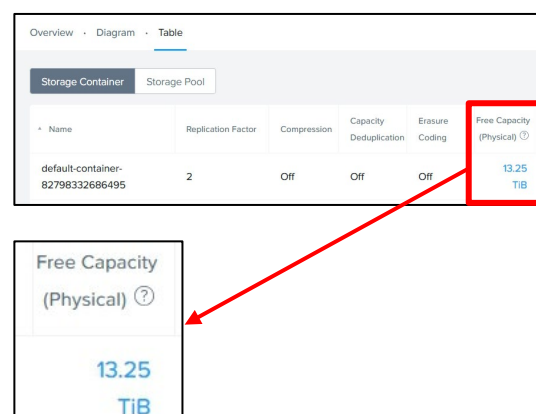


3. 「Storage Container」を選択します。

「default-container-xxxxxxxxxxxx」が表示されていることを確認します。



4. 「 default-container-xxxxxxxxxxxx 」 の「 Free Capacity (physical)」列の値が、実際に利用可能なストレージ容量です。
※右画像は例です



5. 画面右の「Update」をクリック、「Advanced Settings」にて、コンテナの詳細設定の確認・設定が可能です。

Max Capacity (Physical) ?	Controller IOPS	Controller IO B/W	Controller IO Latency
13.25 TiB	0	0 KBps	0 ms
13.25 TiB	0	0 KBps	0 ms
13.25 TiB	0	0 KBps	0 ms
 Update  Delete			

Update Storage Container ? x

Name

default-container-82798332686495

Storage Pool

default-storage-pool-82798332686495 v

Max Capacity (Physical)

13.25 TiB

⚙️ Advanced Settings

Cancel Save

7. Prism Central のデプロイ・設定

ここでは Prism Central のデプロイ、登録、停止、起動作業を実施します。

※以下のバージョンの Prism Central を使用して本手順書を作成しております。Prism Central のバージョンによっては、設定画面が変更されている可能性がありますので、ご注意ください。

Prism Central	pc.2024.3
---------------	-----------

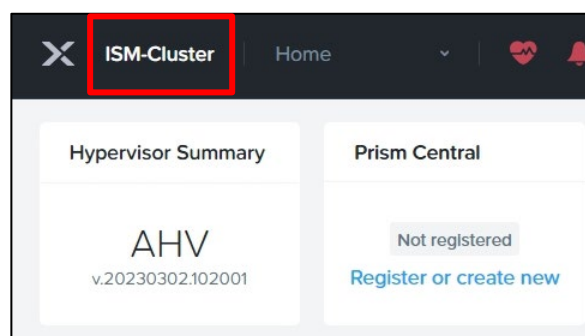
※Prism Central のデプロイは単一 VM を想定しています。

※インストール予定の Prism Central のバージョンが表示されない、クラスターがインターネット接続されていない場合、Prism Central の展開に必要なインストールバイナリおよびメタデータを Nutanix Support ポータルよりダウンロード後、アップロードする必要があります。

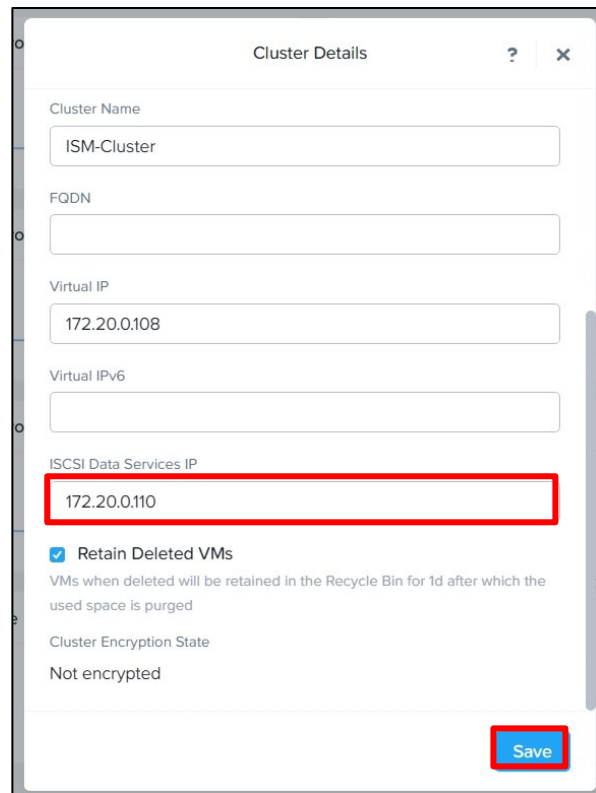
7.1 Prism Central のデプロイ

以下の手順にて Prism Central をデプロイします。

1. Prism Element 画面左上の X マークの右の文字列 (クラスター名)をクリックします。



2. iSCSI Data Services IP (ハイパーバイザー/CVMと同一セグメントの必要があります)を入力します。
「Save」をクリックして、設定内容を保存します。



Cluster Details

Cluster Name
ISM-Cluster

FQDN

Virtual IP
172.20.0.108

Virtual IPv6

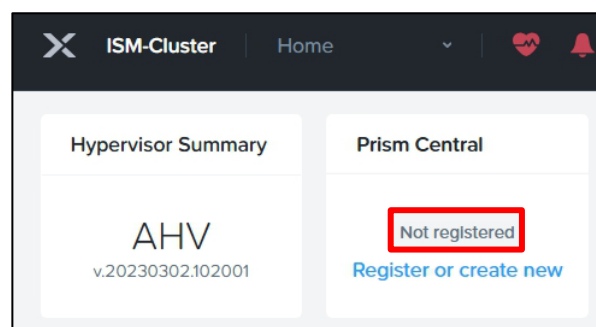
iSCSI Data Services IP
172.20.0.110

☒ Retain Deleted VMs
VMs when deleted will be retained in the Recycle Bin for 1d after which the used space is purged

Cluster Encryption State
Not encrypted

Save

3. Prism Element 上の Prism Central ウィジェットから
「Register or create new」をクリックします。

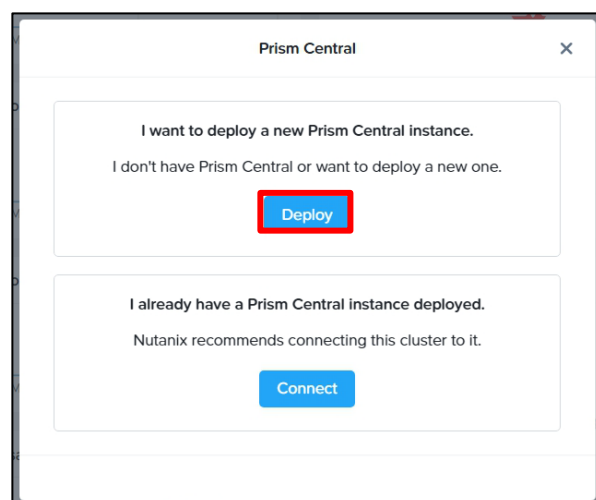


ISM-Cluster Home

Hypervisor Summary
AHV
v.20230302.102001

Prism Central
Not registered
Register or create new

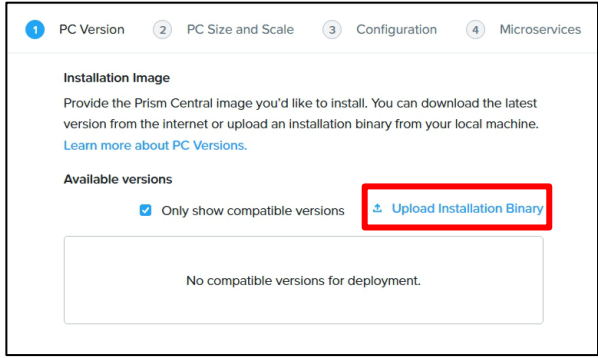
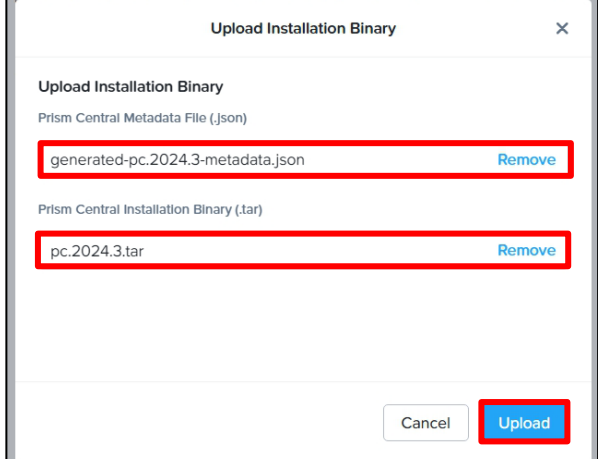
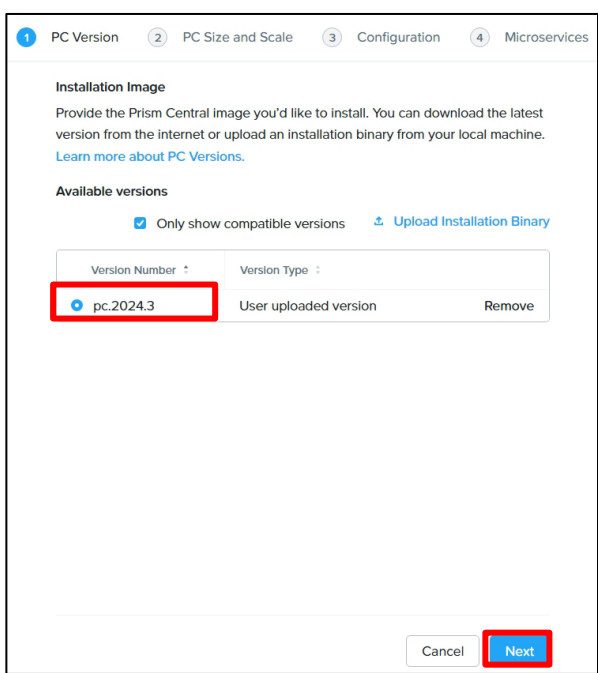
4. 新規の Prism Central を作成するために、「Deploy」をクリックします。



Prism Central

I want to deploy a new Prism Central instance.
I don't have Prism Central or want to deploy a new one.
Deploy

I already have a Prism Central instance deployed.
Nutanix recommends connecting this cluster to it.
Connect

5. 「Upload Installation Binary」をクリックし、Nutanix Support ポータルよりダウンロードした Prism Central のインストールバイナリおよびメタデータのファイルをアップロードします。	 The screenshot shows the 'PC Version' step of the installation wizard. It includes a progress bar with four steps: 1. PC Version, 2. PC Size and Scale, 3. Configuration, and 4. Microservices. The 'Installation Image' section provides instructions on how to provide the Prism Central image. The 'Available versions' section has a checkbox for 'Only show compatible versions' and a blue 'Upload Installation Binary' button, which is highlighted with a red box. Below this, a message states 'No compatible versions for deployment.'
6. Prism Central のインストールに使用するファイル名を確認し、「Upload」をクリックします。	 The screenshot shows the 'Upload Installation Binary' dialog box. It has a title bar with a close button. The 'Upload Installation Binary' section contains two file entries: 'Prism Central Metadata File (.json)' with the filename 'generated-pc.2024.3-metadata.json' and 'Prism Central Installation Binary (.tar)' with the filename 'pc.2024.3.tar'. Both filenames are highlighted with red boxes. Each entry has a 'Remove' button to its right. At the bottom right, there are 'Cancel' and 'Upload' buttons, with the 'Upload' button highlighted by a red box.
7. インストールする Prism Central のバージョンを確認し、「Next」をクリックします。	 The screenshot shows the 'PC Version' step of the installation wizard, similar to the first one. It includes the same progress bar and 'Installation Image' section. In the 'Available versions' section, the 'Only show compatible versions' checkbox is checked. Below it, there are two dropdown menus: 'Version Number' and 'Version Type'. The 'Version Number' dropdown is open, showing 'pc.2024.3' as the selected option, which is highlighted with a red box. To the right of the dropdowns, there is a 'User uploaded version' label and a 'Remove' button. At the bottom right, there are 'Cancel' and 'Next' buttons, with the 'Next' button highlighted by a red box.

8. 今回は Single-VM(単一 VM)の Prism Central をデプロイします。

(スケールアウトのために 3 台の Prism Central をデプロイする場合は、「Scale-Out PC」をクリックしてください。)

Prism Central VM のサイズ (管理する仮想マシンの数に応じたサイズ)を選択してください。

※X-Small は一部の NCI 機能や NCM の機能全般がサポートされていません。

「Next」をクリックします。

PC Version 2 PC Size and Scale 3 Configuration 4 Microservices

Select Prism Central (PC) Size and Scale

Each size supports given number of VMs and can be used with the minimum number of resources provided below.

[Learn more about PC sizes](#)

X-Small New ☐

Supports upto 500 VMs | 5 Clusters | 50 hosts

4 vCPU 18 GB Memory 100 GiB Disk

Small (S) ☒

Supports upto 2500 VMs | 10 Clusters | 200 hosts

6 vCPU 28 GB Memory 500 GiB Disk

☐ Scale-Out PC i

Large (L) ☐

Supports upto 12500 VMs | 25 Clusters | 500 hosts

10 vCPU 46 GB Memory 2500 GiB Disk

X-Large (XL) ☐

Supports upto 12500 VMs | 25 Clusters | 500 hosts

14 vCPU 62 GB Memory 2500 GiB Disk

[Back](#) [Cancel](#) [Next](#)

9. 以下の指定されたフィールドを入力します。

[Networking Details]

Network : Prism Central VM を配置するターゲットネットワーク

Subnet Mask : サブネットマスク

Gateway: デフォルトゲートウェイ

DNS Address (optional) : 1 つまたは複数の DNS サーバーの IP アドレス

NTP Address (optional): 1 つまたは複数の NTP サーバーの IP アドレス

Container : Prism Central VM を配置するコンテナ

[General Details]

VM Name : Prism Central VM の名前

IP : Prism Central VM の IP アドレス

入力後、「Next」ボタンをクリックします。

PC Version 2 PC Size and Scale 3 Configuration 4 Microservices

Networking Details

Network i

AHV VM Network 1

Subnet Mask Gateway IP

255.255.255.0 172.20.15.254

DNS Address(es) i

172.20.20.1,172.20.20.2

NTP Address(es) i

172.20.20.1,172.20.20.2

Container

default-container-82798332686495

General Details

VM Name 6 vCPUs, 28 GB RAM

PC-NameOption-1

IP Address

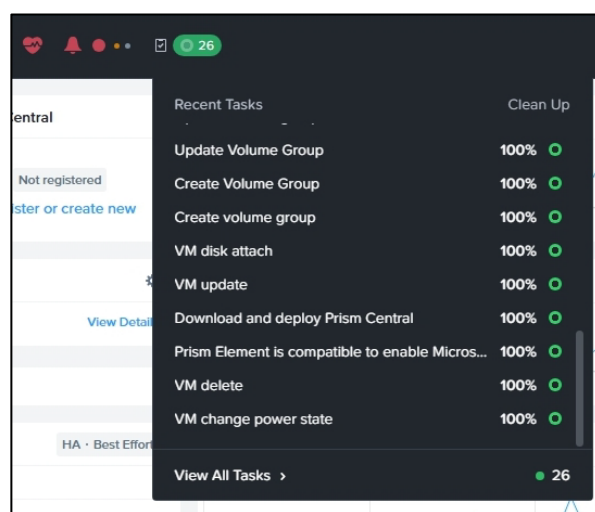
172.20.15.10

[Back](#) [Cancel](#) [Next](#)

10. Microservices インフラストラクチャを有効にするために必要な設定値を入力します。
今回はデフォルト値のまま設定します。

「Deploy」をクリックします。

11. デプロイの実行後、画面上部のタスクの「Download and deploy Prism Central」が 100%になると、デプロイは完了です。



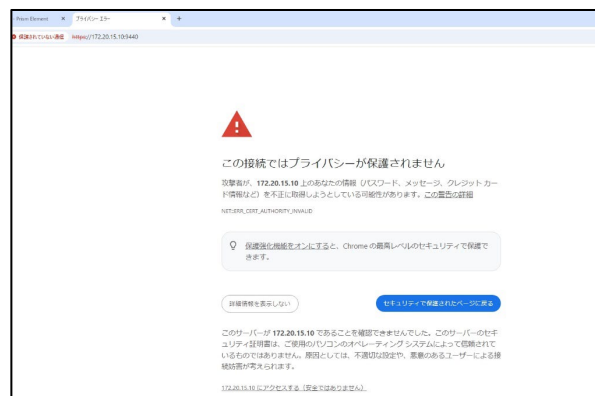
12. 操作端末の Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

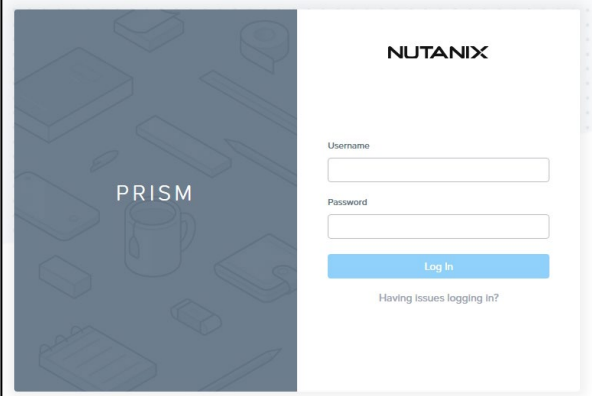
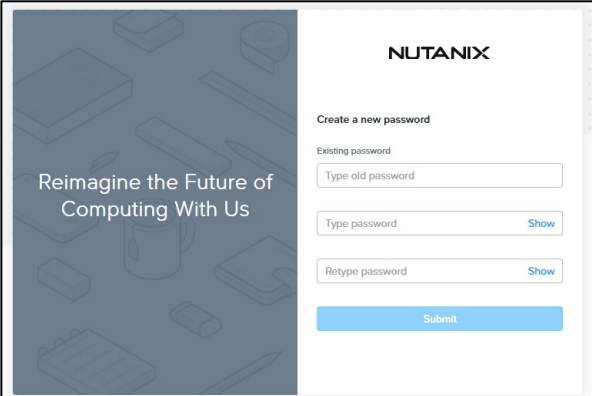
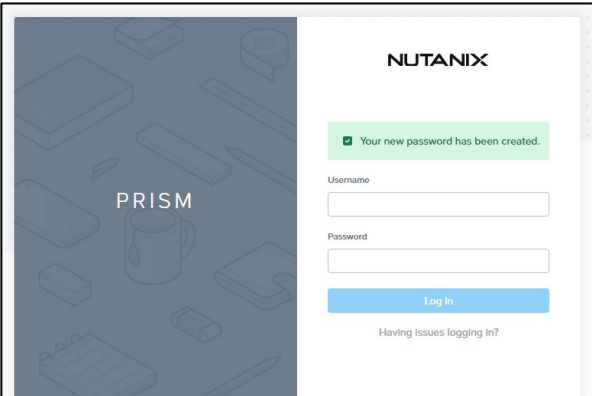
https://Prism Central の IP アドレス:9440/

もしくは

http://Prism Central の IP アドレス/

※自動で https の 9440 番ポートにリダイレクトされます



Google Chrome ご利用時に「この接続ではプライバシーが保護されません」という画面が表示された場合はそのまま、画面上で thisisunsafe とキーボードから入力して下さい。ログイン画面に移ります。これは Google Chrome のセキュリティ強化に伴う仕様です。	
13. ログイン画面が表示されたら、admin ユーザーと初期パスワード Nutanix/4u を入力し、Enter キーまたは「→」ボタンをクリックします。 ※パスワードの1文字目は大文字の N です	 The image shows the Nutanix PRISM login interface. On the left, there's a dark blue sidebar with the word 'PRISM' and a background illustration of various computing components. On the right, the 'NUTANIX' logo is at the top. Below it are input fields for 'Username' and 'Password', followed by a blue 'Log In' button. A link 'Having issues logging in?' is at the bottom right.
14. 新しいパスワードを設定します。	 The image shows the 'Create a new password' screen in the Nutanix PRISM interface. It features the same sidebar as the login screen. The main area has the text 'Reimagine the Future of Computing With Us' and the 'NUTANIX' logo. Below the logo, there's a section titled 'Create a new password' with three input fields: 'Existing password' (with placeholder 'Type old password'), 'Type password', and 'Retype password'. Each field has a 'Show' link to its right. A blue 'Submit' button is at the bottom.
15. admin ユーザーと新規パスワードを入力し、Enter キーをクリックします。	 The image shows the Nutanix PRISM login interface after a successful password change. A green success message 'Your new password has been created.' is displayed at the top. Below it are the 'Username' and 'Password' input fields and the 'Log In' button. The 'Having issues logging in?' link is still present at the bottom right.

16. EULA 画面で「Name」、「Company」、「Job Title」を入力し、「I have read and agree to the terms and conditions.」にチェックを入れ、「Accept」ボタンをクリックします。

Nutanix End User License Agreement (EULA) and Terms of Use

Nutanix is referred to in this Agreement as "Us", "We" or "Our" and Your organization is referred to as "You" or "Your". This Nutanix License and Services Agreement ("Agreement") governs Your use of any Products (as defined below) and becomes effective when You (a) issue a purchase order for the Products; (b) execute or accept this Agreement, or (c) access, download, install, or use the Software or Cloud Services. This Agreement is entered into between You and Nutanix Inc., located at 1740 Technology Dr. Ste. 150, San Jose, CA 95110, United States, if You are contracting in the Americas, or Nutanix Netherlands B.V., located at Mercuriusplein 1, 2032 HA, Hoofddorp, The Netherlands, if You are contracting anywhere else in the world or both if applicable. You represent and warrant that You have the authority to enter into this Agreement on behalf of Your organization.

1. Definitions.

1.1 "Affiliates" means any corporation or other business entity which controls, is controlled by or is under common control through the ownership of more than fifty percent (50%) of the

I have read and agree to the terms and conditions.

Decline Accept

17. Prism Central にて通知設定 Pulse を有効にする場合は、チェックボタンを外したまま、「Continue」ボタンをクリックします。

Pulse will be enabled

Pulse will be enabled for this Prism Central and all clusters registered to this Prism Central. Pulse continuously monitors cluster health and periodically sends usage data to Nutanix's cloud based analytics engine. It automatically takes action when a problem has occurred, or is about to occur. [Learn More](#)

Nutanix strongly recommends not disabling this feature to improve your support experience in the event of a failure or critical system issue.

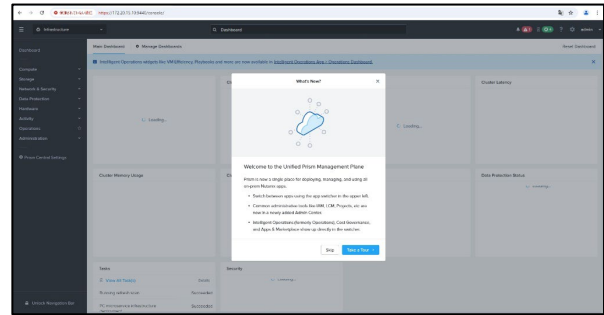
If you disable Pulse, Nutanix will not be able to proactively reach out to you in the event of failures, and your issue resolution time may increase significantly.

☐ Disable Pulse. (not recommended)
Pulse will not be enabled on this Prism Central or any registered clusters.

☒ Do not enable Pulse for registered clusters. (not recommended)
Pulse will not be enabled on any registered clusters.

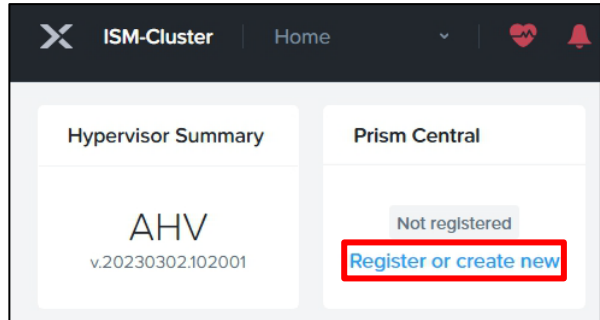
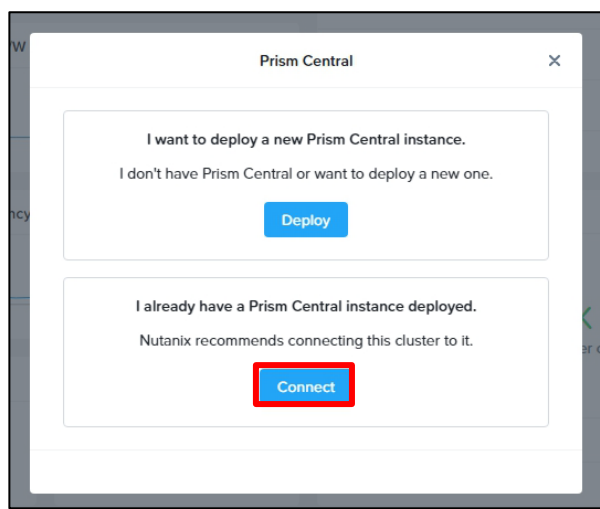
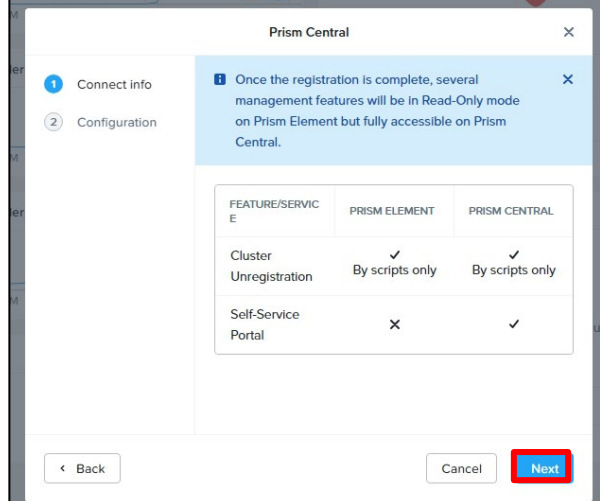
Continue

18. Prism Central の画面が表示されます。



7.2 クラスターの登録

以下の手順にて Nutanix クラスターを Prism Central に登録します。

1. Prism Element に戻り、画面上の Prism Central ウィジェットから「Register or create new」をクリックします。										
2. 作成した Prism Central に接続するために、「Connect」をクリックします。										
3. Prism Central で利用できるサービスの概要が表示されます。確認後、「Next」をクリックします。	 <table data-bbox="1016 1359 1382 1527"><tr><th>FEATURE/SERVICE</th><th>PRISM ELEMENT</th><th>PRISM CENTRAL</th></tr><tr><td>Cluster Unregistration</td><td>By scripts only</td><td>By scripts only</td></tr><tr><td>Self-Service Portal</td><td>×</td><td>✓</td></tr></table>	FEATURE/SERVICE	PRISM ELEMENT	PRISM CENTRAL	Cluster Unregistration	By scripts only	By scripts only	Self-Service Portal	×	✓
FEATURE/SERVICE	PRISM ELEMENT	PRISM CENTRAL								
Cluster Unregistration	By scripts only	By scripts only								
Self-Service Portal	×	✓								

4. 以下の指定されたフィールドに Prism Central の情報を入力します。

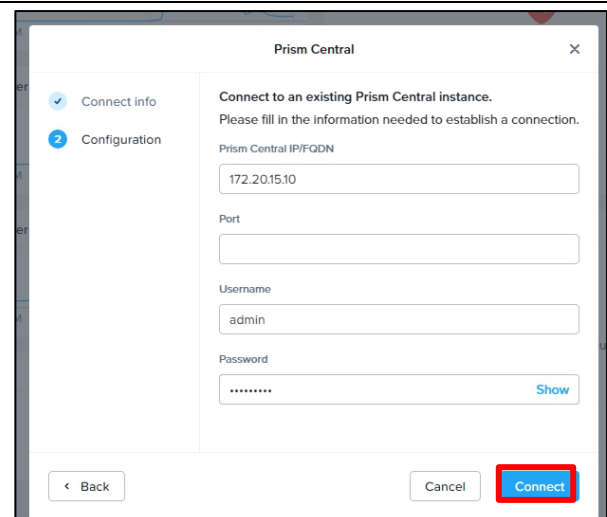
Prism Central IP/FQDN : Prism Central の IP アドレスまたは FQDN

Port : 空欄で結構です

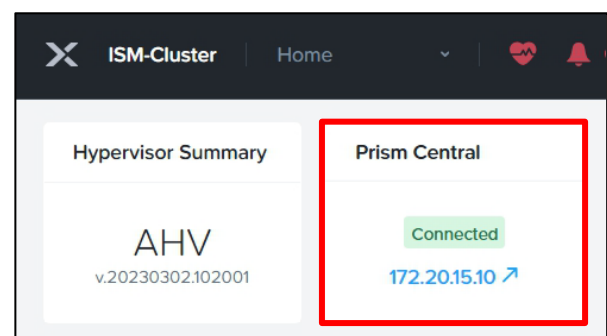
Username: Prism Central のユーザー名(admin)

Password : Prism Central の admin ユーザーのパスワード

入力後、「Connect」ボタンをクリックします。

A screenshot of a 'Prism Central' configuration window. It has two tabs: 'Connect info' (selected) and 'Configuration'. The 'Connect info' tab contains fields for 'Prism Central IP/FQDN' (filled with '172.20.15.10'), 'Port' (empty), 'Username' (filled with 'admin'), and 'Password' (masked with dots, with a 'Show' link). At the bottom are 'Back', 'Cancel', and 'Connect' buttons. The 'Connect' button is highlighted with a red rectangle.

5. 正常に接続できた場合、Prism Element の Prism Central ウィジェットで「OK」が表示されます。
「Launch」をクリックすると、Prism Central の画面が開きます。



7.3 Prism Central への SSH ログイン

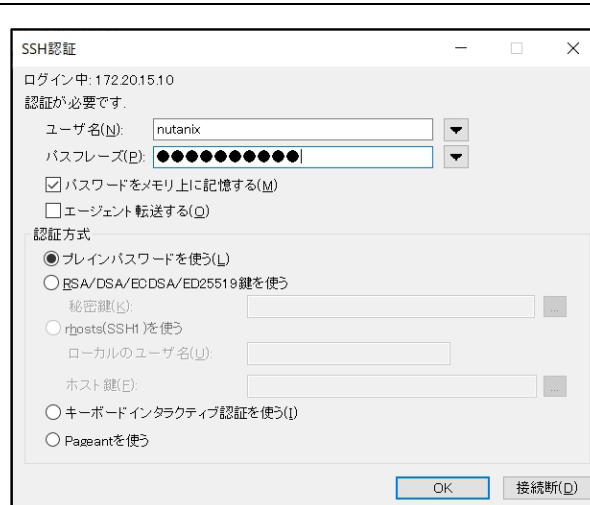
Prism Central に操作端末から SSH で接続し、Prism Central を停止、起動させることができます。
Prism Central へのログインに必要な情報は以下の通りです。

Prism Central SSH ログイン情報

IP アドレス	Prism Central を作成した際に指定した IP アドレス
ユーザー名	nutanix
パスワード	nutanix/4u

以下の手順で SSH クライアントから Prism Central にログインできます。

1. TeraTerm などの SSH クライアントから Prism Central VM に接続します。

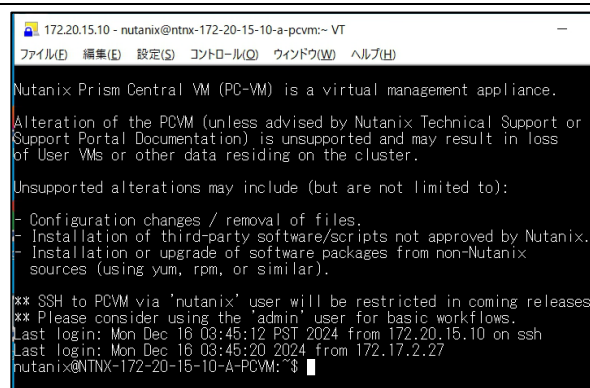


2. ログインに成功すると、以下のコマンドプロンプトが表示されます。

```
nutanix@PCVM ホスト名:IP アドレス:$
```

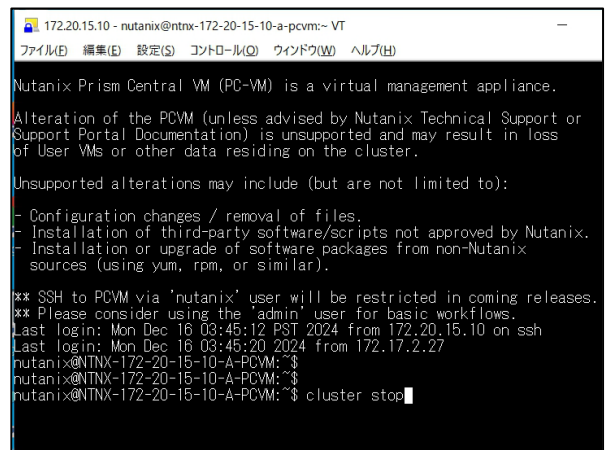
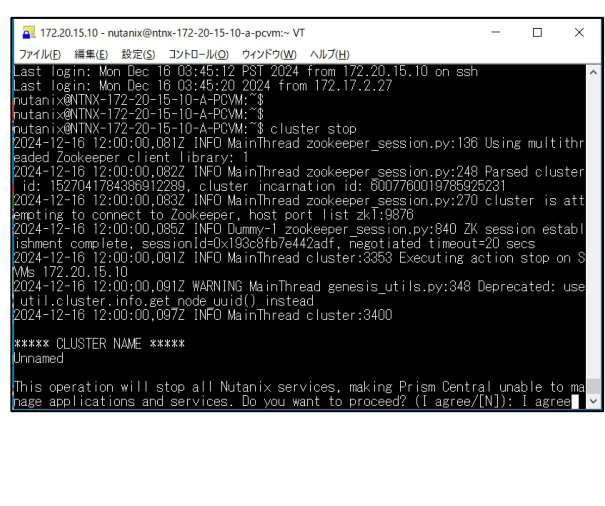
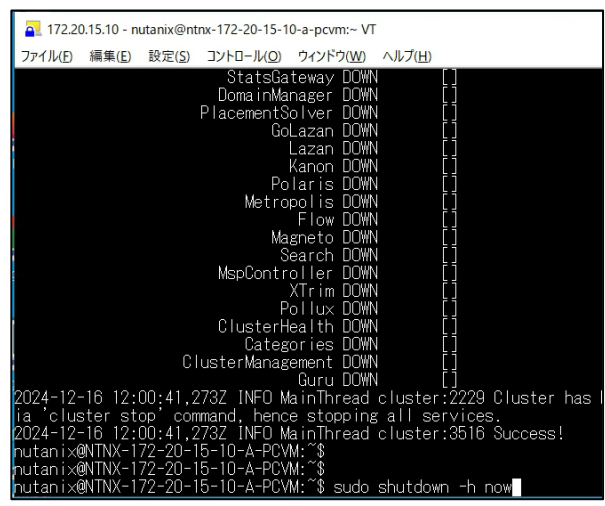
正常に接続できない場合は、ネットワーク接続などをご確認ください。

exit コマンドでログアウトできます。



7.4 Prism Central の停止

クラスターを停止させる際などに、Prism Central を停止させるには以下の手順を実行してください。

1. Prism Central に SSH でログインし、以下のコマンドを実行します。 2. <code>\$ cluster stop</code>	
2. Prism Central サービスを停止してもよいか確認が入ります。 停止する場合は、「I agree」と入力し、Enter キーを押します。 This operation will stop the Nutanix services, making Prism Central unable to manage applications and services. Do you want to proceed? (I agree/[N]): I agree 入力後、Prism Central サービスが停止するまでしばらく待ちます。	
3. 続いて、Prism Central VM をシャットダウンするために、以下のコマンドを実行します。 <code>\$ sudo shutdown -h now</code>	

7.5 Prism Central の起動

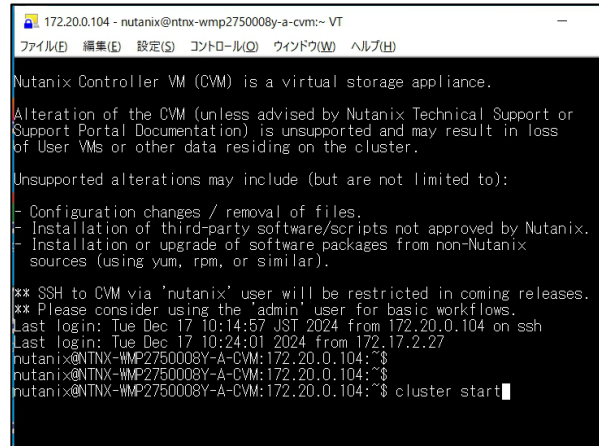
Prism Central を起動させる時は、以下の手順を実行してください。

1. Prism Element の仮想マシン管理ページから、Prism Central VM を起動します。

Prism Central VM が起動したら、SSH でログインし、以下のコマンドを実行します。

```
$ cluster start
```

Prism Central サービスが起動するまでしばらく待ちます。



```
172.20.0.104 - nutanix@ntnx-wmp2750008y-a-cvm:~ VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Nutanix Controller VM (CVM) is a virtual storage appliance.
Alteration of the CVM (unless advised by Nutanix Technical Support or
Support Portal Documentation) is unsupported and may result in loss
of User VMs or other data residing on the cluster.

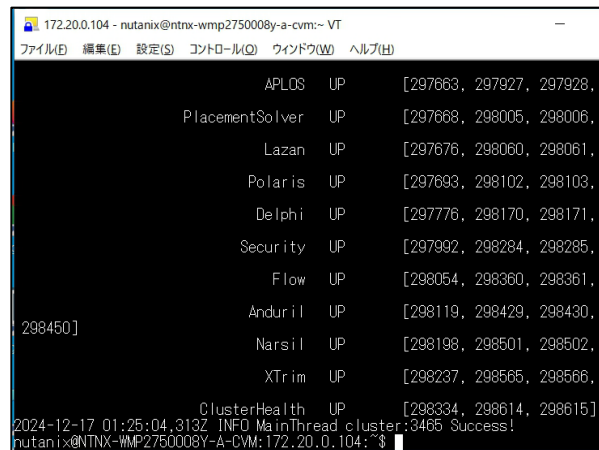
Unsupported alterations may include (but are not limited to):
- Configuration changes / removal of files.
- Installation of third-party software/scripts not approved by Nutanix.
- Installation or upgrade of software packages from non-Nutanix
  sources (using yum, rpm, or similar).

** SSH to CVM via 'nutanix' user will be restricted in coming releases.
** Please consider using the 'admin' user for basic workflows.
Last login: Tue Dec 17 10:14:57 JST 2024 from 172.20.0.104 on ssh
Last login: Tue Dec 17 10:24:01 2024 from 172.17.2.27
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM:172.20.0.104:~$
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM:172.20.0.104:~$
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM:172.20.0.104:~$ cluster start
```

2. Prism Central サービスの起動が完了すると以下のメッセージが表示されます。

```
INFO MainThread cluster:XXXXSuccess!
```

以上で Prism Central の起動は完了です。Prism Central の画面にアクセスできます。

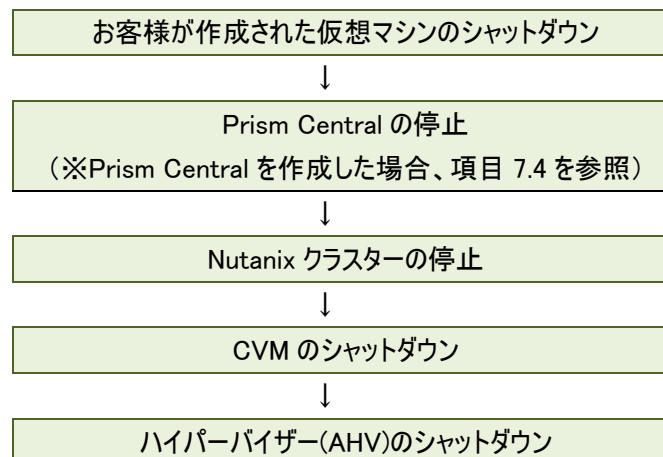


```
172.20.0.104 - nutanix@ntnx-wmp2750008y-a-cvm:~ VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

APLOS UP [297663, 297927, 297928,
PlacementSolver UP [297668, 298005, 298006,
Lazan UP [297678, 298060, 298061,
Polaris UP [297693, 298102, 298103,
Delphi UP [297776, 298170, 298171,
Security UP [297992, 298284, 298285,
Flow UP [298054, 298360, 298361,
Anduril UP [298119, 298429, 298430,
Narsil UP [298198, 298501, 298502,
XTrim UP [298237, 298565, 298566,
ClusterHealth UP [298334, 298614, 298615]
2024-12-17 01:25:04.313Z INFO MainThread cluster:3465 Success!
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM:172.20.0.104:~$
```

8. Nutanix の停止

機器のメンテナンスや法定停電時などに Nutanix を停止させる必要があるときは、以下の順序で停止・シャットダウンする必要があります。



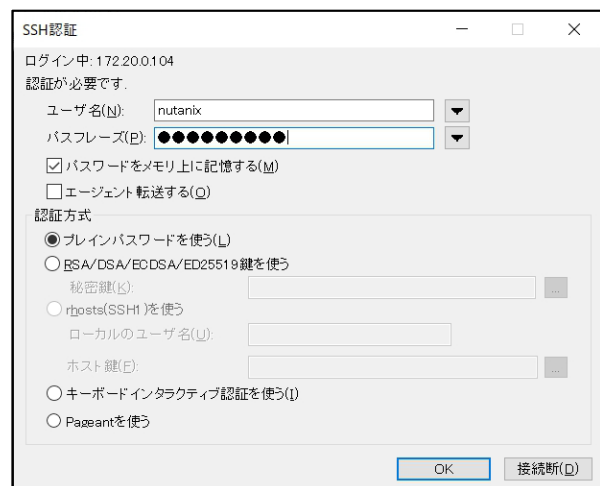
以下では、「お客様が作成された仮想マシンのシャットダウン」以降の手順について説明します。

8.1 Nutanix クラスターの停止

以下の手順にて Nutanix クラスターを停止します。

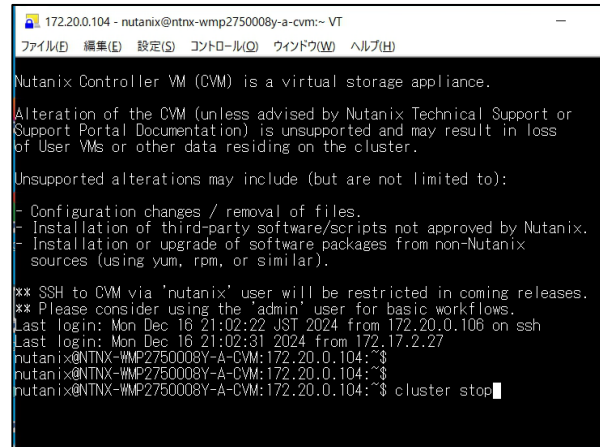
事前にお客様が作成された仮想マシンのシャットダウンを実施してください。

1. 任意の 1 台の CVM に nutanix ユーザーで SSH ログインします。



2. クラスターを停止するには、以下のコマンドを実行します。

```
$ cluster stop
```



```
172.20.0.104 - nutanix@ntnx-wmp2750008y-a-cvm:~ VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Nutanix Controller VM (CVM) is a virtual storage appliance.

Alteration of the CVM (unless advised by Nutanix Technical Support or
Support Portal Documentation) is unsupported and may result in loss
of User VMs or other data residing on the cluster.

Unsupported alterations may include (but are not limited to):

- Configuration changes / removal of files.
- Installation of third-party software/scripts not approved by Nutanix.
- Installation or upgrade of software packages from non-Nutanix
  sources (using yum, rpm, or similar).

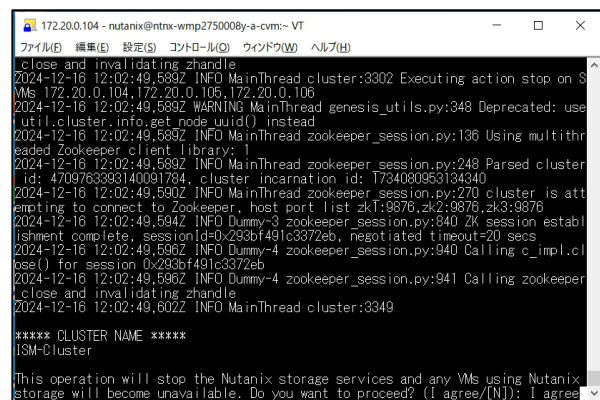
** SSH to CVM via 'nutanix' user will be restricted in coming releases.
** Please consider using the 'admin' user for basic workflows.
Last login: Mon Dec 16 21:02:22 JST 2024 from 172.20.0.106 on ssh
Last login: Mon Dec 16 21:02:31 2024 from 172.17.2.27
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$ cluster stop
```

3. クラスターを停止してもよいか確認が入ります。
停止する場合は、「I agree」と入力し、Enter キーを押します。

```
This operation will stop the Nutanix storage
services and any VMs using Nutanix storage
will become unavailable. Do you want to
proceed? (I agree/[N]): I agree
```

入力後、クラスターが停止するまでしばらく待ちます。

※本手順は 1 台の CVM からのみ実行します



```
172.20.0.104 - nutanix@ntnx-wmp2750008y-a-cvm:~ VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

close and invalidating zhandle
2024-12-16 12:02:49.589Z INFO MainThread cluster:3302 Executing action stop on S
VMs 172.20.0.104, 172.20.0.105, 172.20.0.106
2024-12-16 12:02:49.589Z WARNING MainThread genesis_utils.py:348 Deprecated: use
util.cluster.info.get_node_uuid() instead
2024-12-16 12:02:49.589Z INFO MainThread zookeeper_session.py:136 Using multithr
eaded Zookeeper client library: 1
2024-12-16 12:02:49.590Z INFO MainThread zookeeper_session.py:248 Parsed cluster
id: 4709763393140091784, cluster incarnation id: 1734080953134340
2024-12-16 12:02:49.590Z INFO MainThread zookeeper_session.py:270 cluster is att
empting to connect to Zookeeper, host port list zk1:9876, zk2:9876, zk3:9876
2024-12-16 12:02:49.594Z INFO Dummy-3 zookeeper_session.py:940 zk session establ
ishment complete, sessionId=0x293bf491c3372eb, negotiated timeout=20 secs
2024-12-16 12:02:49.596Z INFO Dummy-4 zookeeper_session.py:940 Calling c_impl.cl
ose() for session 0x293bf491c3372eb
2024-12-16 12:02:49.596Z INFO Dummy-4 zookeeper_session.py:941 Calling zookeeper
close and invalidating zhandle
2024-12-16 12:02:49.602Z INFO MainThread cluster:3349

***** CLUSTER NAME *****
ISM-Cluster

This operation will stop the Nutanix storage services and any VMs using Nutanix
storage will become unavailable. Do you want to proceed? (I agree/[N]): I agree
```

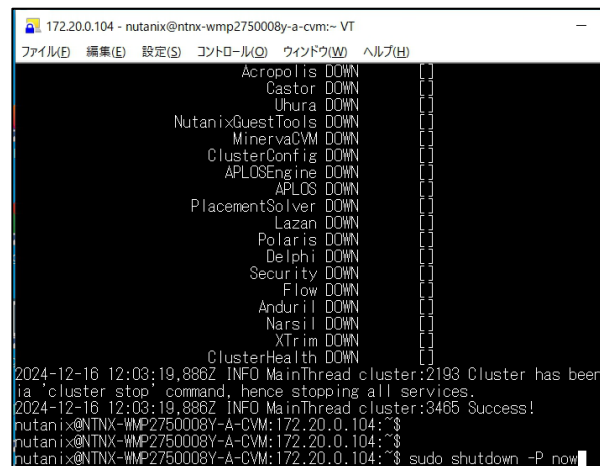
8.2 CVM のシャットダウン

Nutanix クラスターを停止させたら、次は以下の手順にてすべての CVM を順番にシャットダウンします。

1. CVM から以下のコマンドを実行します。

```
$ sudo shutdown -P now
```

※本手順はすべての CVM に対して実行します



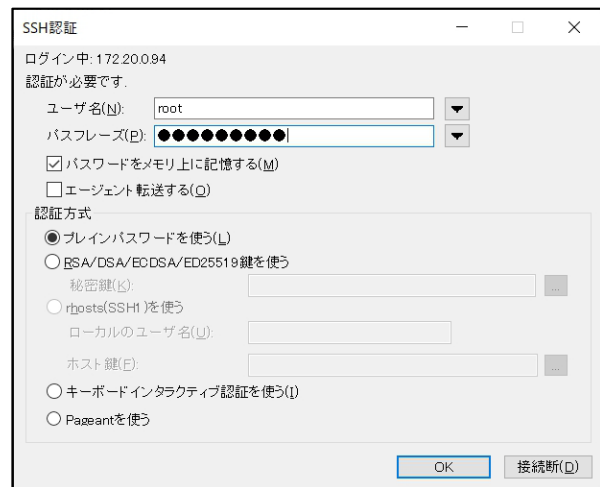
```
172.20.0.104 - nutanix@ntnx-wmp2750008y-a-cvm:~ VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Acropolis DOWN
Castor DOWN
Uhura DOWN
NutanixGuestTools DOWN
MinervaCVM DOWN
ClusterConfig DOWN
APLOSEngine DOWN
APLOS DOWN
PlacementSolver DOWN
Lazan DOWN
Polaris DOWN
Delphi DOWN
Security DOWN
Flow DOWN
Anduril DOWN
Narsil DOWN
XTrim DOWN
ClusterHealth DOWN
2024-12-16 12:03:19.886Z INFO MainThread cluster:2193 Cluster has been
ia 'cluster stop' command, hence stopping all services.
2024-12-16 12:03:19.886Z INFO MainThread cluster:3465 Success!
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$
nutanix@NTNX-WMP2750008Y-A-CVM: 172.20.0.104:~$ sudo shutdown -P now
```

8.3 ハイパーバイザー(AHV)のシャットダウン

CVM を停止させたら、次は以下の手順にてすべてのハイパーバイザー(AHV)を順番にシャットダウンします。

1. ハイパーバイザー(AHV)に root ユーザーで SSH ログインします。



2. 以下のコマンドで CVM が停止しているか確認します。

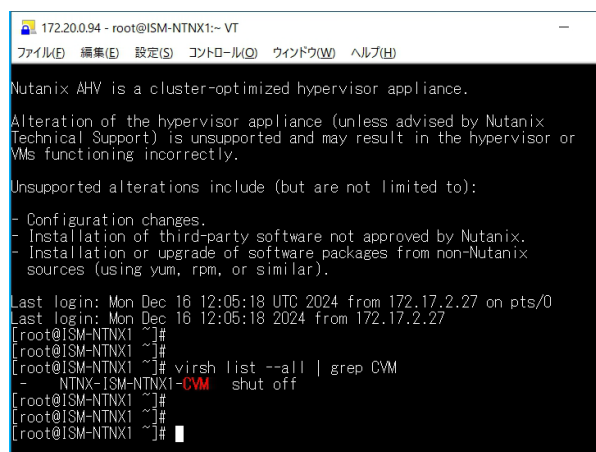
```
# virsh list --all | grep CVM
```

CVM が「shut off」になっていれば CVM のシャットダウンが完了しています。

```
1 CVM ホスト名      shut off
↑ CVM のシャットダウンが完了しています
```

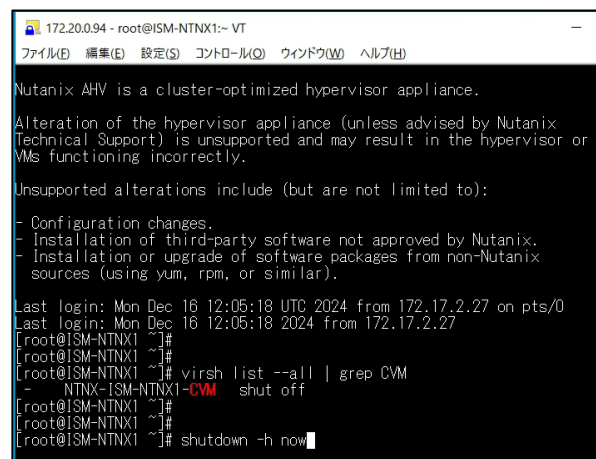
「running」の場合は、CVM のシャットダウン中です。しばらく待った後、再度 virsh コマンドを実行して CVM がシャットダウンされたか確認してください。

```
1 CVM ホスト名      running
↑ CVM のシャットダウンが完了していません
```



3. CVM が「shut off」状態になったことを確認したら、以下のコマンドでハイパーバイザー(AHV)をシャットダウンします。

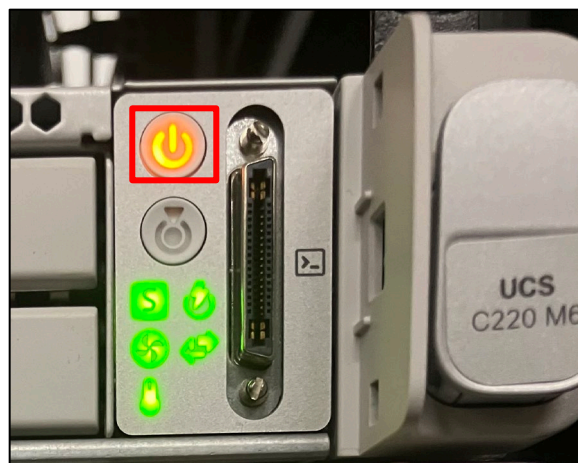
```
# shutdown -h now
```



4. サーバーがシャットダウンされ、電源ボタンがオレンジ色に点灯していることを確認します。

サーバーに接続された電源ケーブルを安全に取り外します。

※本手順はすべての AHV に対して実行します



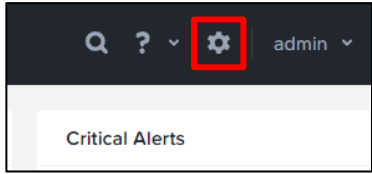
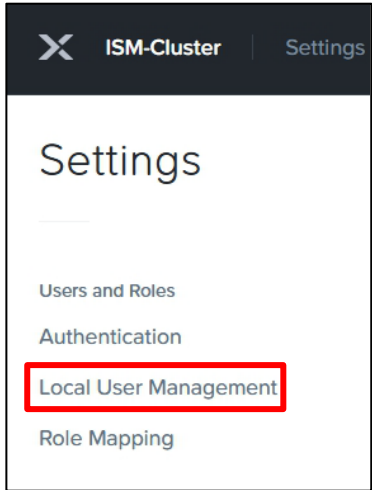
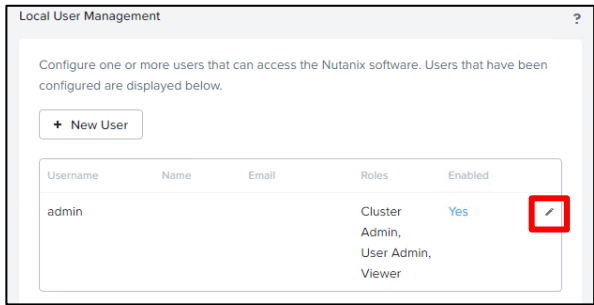
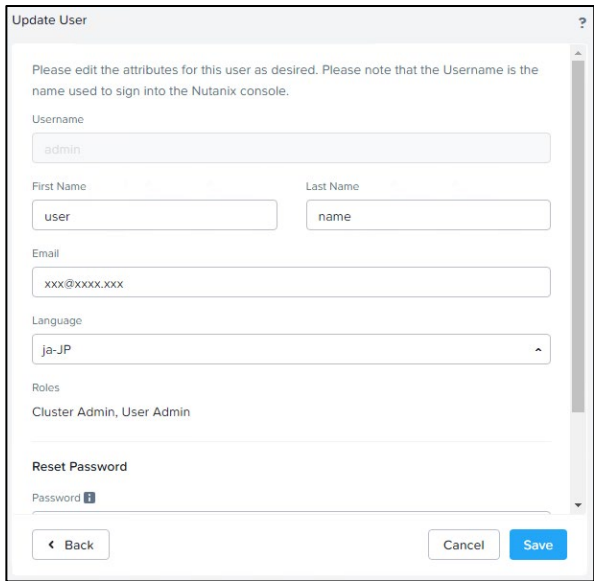
以上が Nutanix の停止手順となります。

再度 Nutanix を起動するときは本資料の「Nutanix の起動」の手順を実施してください。

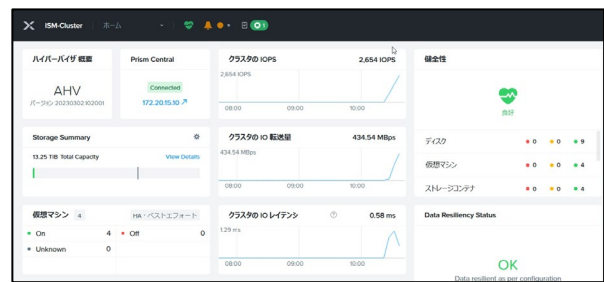
9. 参考情報

9.1 Prism Element の日本語化

Prism Element の言語設定を日本語に変更することが可能です。

1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の歯車アイコンをクリックします。	
2. 「Local User Management」をクリックします。	
3. admin ユーザー行の鉛筆マークをクリックします。	
4. 「First Name」、「Last Name」、「Email」を入力します。 「Language」は「ja_JP」を選択し、「Save」をクリックします。	

5. ブラウザを再読み込みすると、Prism が日本語表示に切り替わります。



9.2 サポートポータルユーザー登録について

製品ドキュメントの閲覧やソフトウェアのダウンロードにはサポートポータルへのログインが必要になります。ログインアカウントをお持ちでない場合は、以下のマニュアルをご参照いただき、アカウントの作成をお願いします。

<https://www.nutanix.com/content/dam/nutanix/ja/documents/support/doc-support-portal-user-account.pdf>

9.3 オーソライズド・ドメインについて

Nutanix 機器を保有するエンドユーザー様の代理で販売店様、保守会社様がサポートポータルへアクセスする場合は、エンドユーザー様によるオーソライズド・ドメインの申請が必要になります。

詳細は以下のマニュアルをご参照ください。

<https://www.nutanix.com/content/dam/nutanix/ja/documents/support/doc-support-portal-authorized-domain.pdf>

9.4 ライセンス適用について

弊社 Foundation 作業ではライセンス適用作業は実施しておりません。

以下のマニュアルをご参照いただき、ライセンスの取得、適用をお願いします。

<https://www.nutanix.com/content/dam/nutanix/ja/documents/support/doc-licensing.pdf>

9.5 ハイパーバイザー、CVM のパスワードについて

ハイパーバイザー、CVM の管理者アカウントのパスワードがデフォルトの場合、アラートが生成されることがあります。デフォルトのパスワードから変更される手順につきましては、以下のナレッジをご参照ください。

<https://portal.nutanix.com/kb/6153>

9.6 Nutanix 社への問い合わせについて

Nutanix 社へ技術的な問い合わせをする際は、サポートポータルまたは電話からサポートケースをオープンする必要があります。

具体的な手順については以下のマニュアルをご参照ください。

※いずれの問い合わせ方法でも、事前にサポートポータルユーザー登録が必要です

<https://www.nutanix.com/content/dam/nutanix/ja/documents/support/doc-support-portal-case-management.pdf>

9.7 Cisco 社への問い合わせについて

HW 保守および Intersight に関するサポートケースをオープンする場合は、下記のマニュアルをご参照ください。

https://www.cisco.com/c/dam/global/ja_jp/support/loc-tac-guide/pdf/cisco-ts-startup-guide.pdf

9.8 Nutanix リンク集

■ 日本語サポートドキュメント一覧

<https://www.nutanix.com/jp/support-services/product-support/support-documentation>

■ 各種ソフトウェアのダウンロード ※要サポートポータルログイン

<https://portal.nutanix.com/page/downloads/>

■ 各種ソフトウェアドキュメント ※要サポートポータルログイン

<https://portal.nutanix.com/page/documents/list?type=software>

■ Compatibility and Interoperability Matrix

ハードウェア、AOS、ハイパーバイザーの互換性情報 ※要サポートポータルログイン

<https://portal.nutanix.com/page/documents/compatibility-interoperability-matrix>

Cisco 社の AOS、ハイパーバイザー、ファームウェアの互換性情報

<https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/public/>

■ Upgrade Paths

AOS、Prism Central などのアップグレードパス情報 ※要サポートポータルログイン

<https://portal.nutanix.com/page/documents/upgrade-paths>

10. 改訂履歴

Rev	修正年月日	内容	作成者
1.0	2024/12/17	・新規作成	ディーアイエスサービス&ソリューション株式会社